Infectious Diseases Weekly Report JAPAN
iDWR
2006年第50週（12月11日～12月17日）：通巻第8巻第50号
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査

感染症週報

厚生労働省／国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます

発生動向総覧 P.2-9
＜第50週＞A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第42週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い／その他最新動向
＜11月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について

注目すべき感染症 P.10-13
＜インフルエンザ＞第50週の定点当たり報告数は0.21であり、まだ1.00を超える全国的な流行とはなっていない
＜感染性胃腸炎＞第50週の定点当たり報告数は22.8となり、第49週の値（22.2）を更に上回ったが、西日本では前週と比べて減少している地域も多くみられる

病原体情報 P.14-17
感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン／インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

速報 P.18
今冬初発集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離－滋賀県

海外感染症情報 P.19-20
トーゴでの黄熱の流行／高病原性鳥インフルエンザ A/H5N1-情報更新および2006年の概観

感染症の話 P.21
＜今週はお休みです＞

読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞

グラフ総覧（50週） P.22-28
グラフ総覧（11月） P.29-33
11月のデータ P.34-37
50週のデータ P.38-49

発生動向総覧

※2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

＜第５０週コメント＞12月21日集計分

◆全数報告の感染症

注意：これは**当該週に診断**された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症：報告なし

2類感染症：**細菌性赤痢** 8例（感染地域：神奈川県2例、ベトナム3例、フィリピン1例、インド1例、ミャンマー1例）

3類感染症：**腸管出血性大腸菌感染症** 49例（うち有症者10例、HUS 1例）
感染地域：すべて国内
国内の多い感染地：熊本県37例*、静岡県4例．*第48、49週の13例を含め、同一幼稚園に関連した集団発生
年齢群：10歳未満（29例）、10代（3例）、20代（3例）、30代（10例）、40代（2例）、50代（1例）、60代（1例）
血清型・毒素型：O26 VT1（37例）、O157 VT1・VT2（4例）、O157 VT2（4例）、O111 VT1（1例）、O119 VT1（1例）、その他/不明（2例）

4類感染症：**E型肝炎** 3例
〔感染地域：埼玉県1例（感染源：レバ刺し、馬刺し）、新潟県1例（感染源：不明）、三重県1例（感染源：不明）〕
A型肝炎 1例（感染地域：兵庫県）
つつが虫病 14例
（感染地域：鹿児島県3例、福島県2例、宮崎県2例、青森県1例、群馬県1例、千葉県1例、静岡県1例、愛知県1例、愛媛県1例、佐賀県1例）
デング熱 1例（感染地域：インド）
マラリア 2例　三日熱1例（感染地域：ミャンマー）
熱帯熱1例（感染地域：スーダン）
レジオネラ症 4例（すべて肺炎型）
年齢群：60代2例、70代2例
感染地域：栃木県1例、新潟県1例、兵庫県1例、福岡県1例
レプトスピラ症 1例（感染地域：宮城県、感染原因：釣り関連）

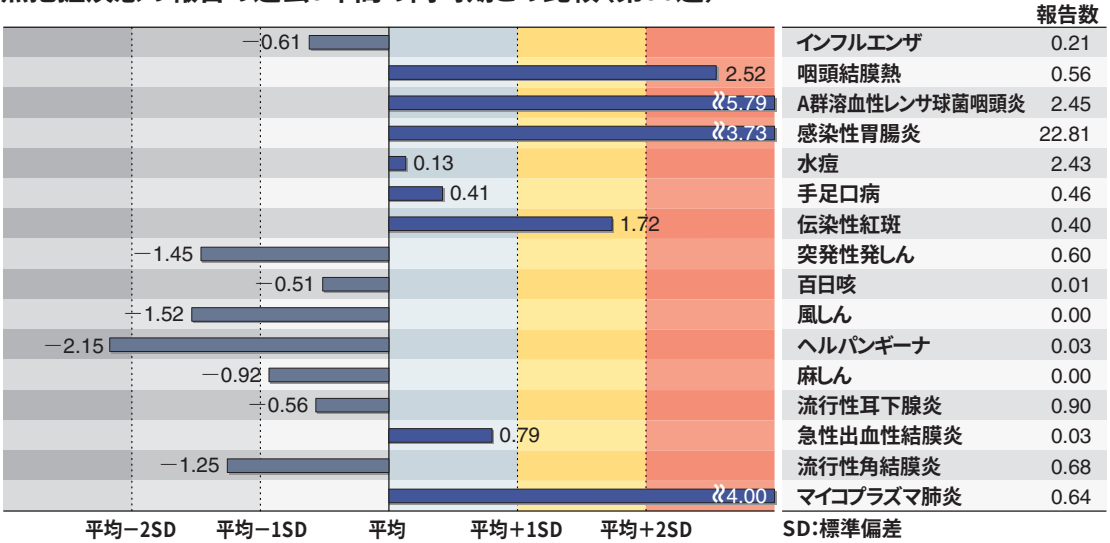
5類感染症：**アメーバ赤痢** 12例（腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症3例）
感染地域：国内10例、中国1例、台湾1例
感染経路：経口2例、性的接触3例（異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例）、経口/性的接触（異性間）2例、不明5例
ウイルス性肝炎 1例〔B型＿感染経路：性的接触（異性間）〕
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例（孤発性プリオン病古典型）
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例（血清群：G群．50代）
後天性免疫不全症候群 13例（無症候11例、その他2例）
感染地域：国内12例、国内/アンギラ1例
感染経路：すべて性的接触（異性間5例、同性間8例）
梅毒 7例（早期顕症I期1例、早期顕症II期3例、無症候2例．先天梅毒1例）
破傷風 1例（80代）

（補）他に報告遅れとして、細菌性赤痢1例（感染地域：インドネシア）、E型肝炎2例〔感染地域：栃木県1例（感染源：不明）、神奈川県1例（感染源：羊肉）〕、レジオネラ症2例〔感染地域：長野県1例（温泉）、神奈川県1例（温泉）〕、急性脳炎7例〔単純ヘルペスウイルス2例（ともに1歳）、アデノウイルス3型1例（0歳）、サルモネラ菌1例（9歳）、HHV6 1例（0歳）、病原体不明2例（ともに10代）〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例（遺伝子型：*VanB*＿菌検出検体：尿）などの報告があった

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関（定点）から報告され、疾患により小児科定点（約3,000カ所）、インフルエンザ（小児科・内科）定点（約5,000カ所）、眼科定点（約600カ所）、基幹定点（約500カ所）に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較（第50週）



当該週と過去5年間の平均（過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均）との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ：定点当たり報告数は第43週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県（4.28）、大分県（1.91）、岐阜県（1.45）、沖縄県（0.97）が多い。

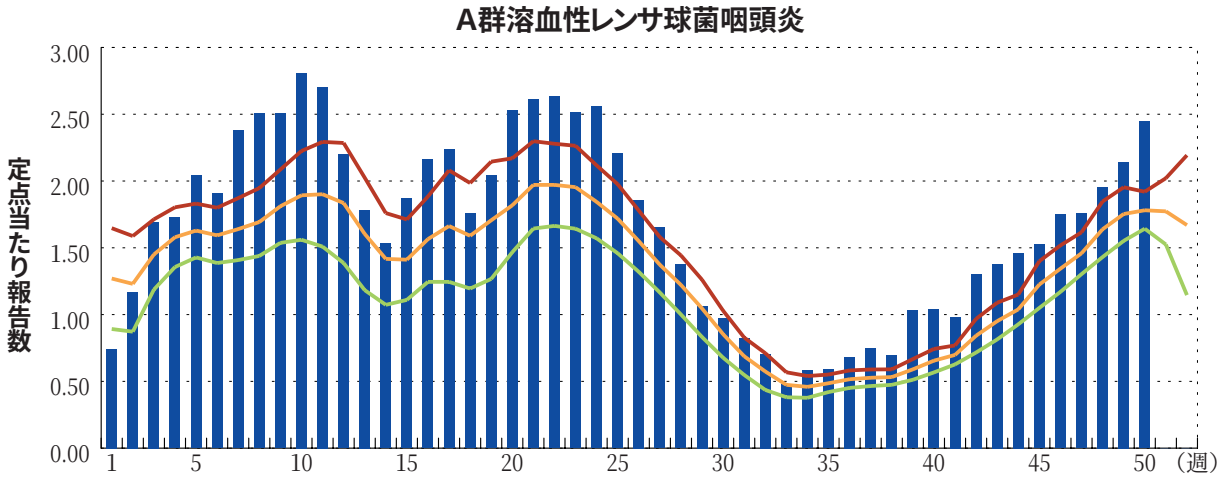
小児科定点報告疾患：**RSウイルス感染症**は2,545例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の72%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は第42週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では山形県（2.0）、北海道（1.9）、富山県（1.8）、長崎県（1.5）が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は第42週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では北海道（5.1）、鳥取県（4.8）、新潟県（4.6）、山口県（4.2）が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は第39週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では福井県（43.3）、愛媛県（36.1）、宮城県（33.7）、埼玉県（33.3）、長野県（31.7）、福島県（31.6）が多い。**水痘**の定点当たり報告数は第43週より増加が続いている。都道府県別では島根県（5.0）、宮城県（4.5）、福井県（4.1）、大分県（3.9）が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県（3.2）、大分県（2.9）、島根県（1.4）が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は第47週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では富山県（1.14）、宮城県（0.87）、岩手県（0.85）、秋田県（0.77）が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では栃木県（0.15）、京都府（0.04）、広島県（0.03）、沖縄県（0.03）が多い。**風しん**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県から各1例の報告であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岩手県（0.21）、宮城県（0.15）、徳島県（0.14）が多い。**麻しん**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では、埼玉県、東京都から各2例、新潟県、愛知県、兵庫県から各1例の報告であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では新潟県（2.8）、青森県（2.5）、岩手県（2.4）が多い。

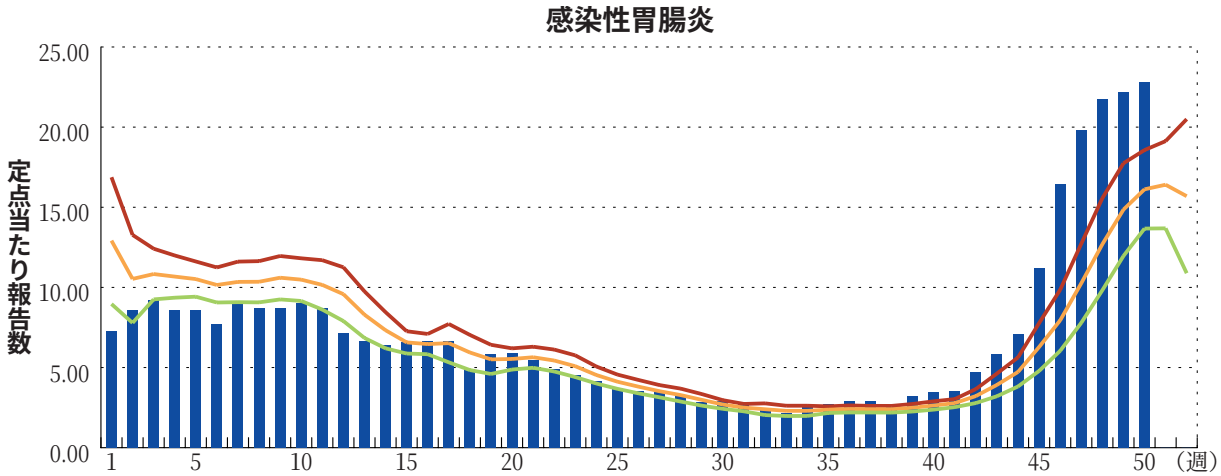
基幹定点報告疾患：**マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県（3.9）、大阪府（1.9）、群馬県（1.8）、埼玉県（1.7）が多い。

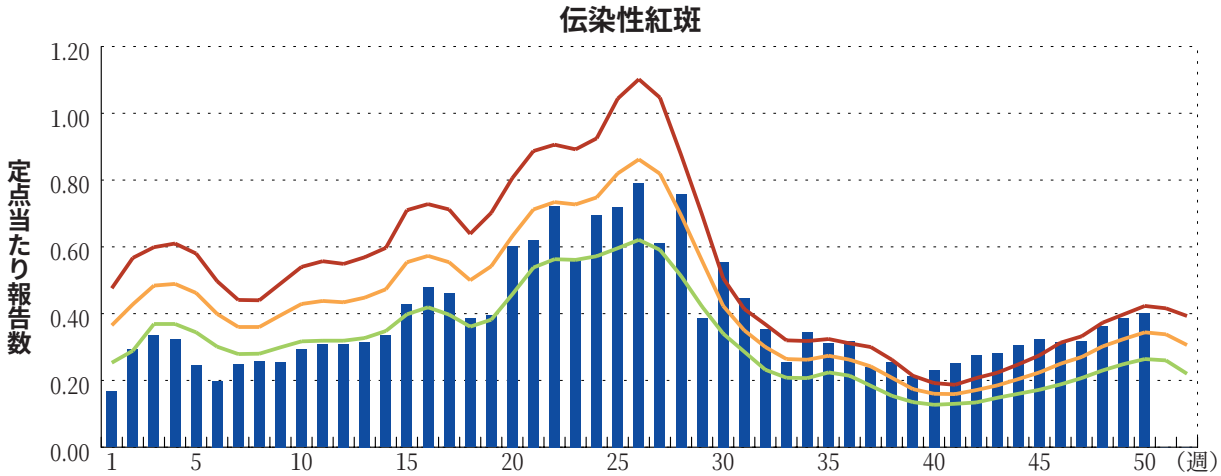
図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較（2006年第1～50週）

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。

*過去5年間の平均：前週、当該週、後週の合計15週の平均







〈11月コメント〉

◆性感染症について（12月11日集計分）　性感染症定点数：948

●定点当たり報告数推移

2006年11月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.56（男1.12、女1.43）、性器ヘルペスウイルス感染症が0.88（男0.40、女0.48）、尖圭コンジローマが0.52（男0.30、女0.22）、淋菌感染症が0.93（男0.76、女0.18）で、男女とも、4疾患のうち性器クラミジア感染症が多かった（**図1**）。

前月に比べると、性器クラミジア感染症は男女ともに微減、性器ヘルペスウイルス感染症は男性で微増、女性で減少、尖圭コンジローマは男女ともに微減、淋菌感染症は男性で減少し、女性で微増した（29～32ページ「グラフ総覧」参照）。男女別に過去5年間の同時期と比較すると、性器クラミジア感染症では男性が平均-2標準偏差（SD）を、女性が平均-1SDを下回り、性器ヘルペスウイルス感染症では男性が+1SDを上回り、女性が-1SDを下回り、淋菌感染症では男性が-2SDを、女性が-1SDを下回った（**図2**）。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合（11月）

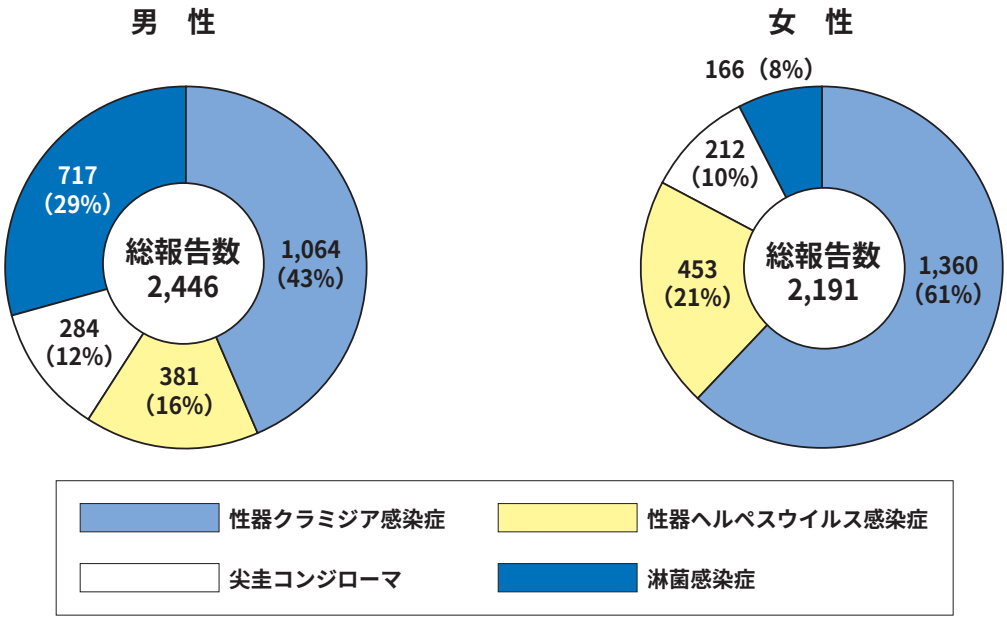
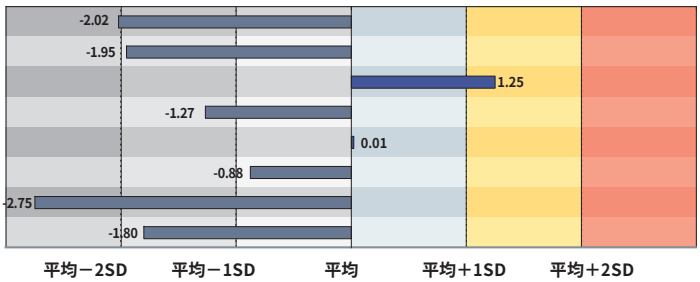


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較（11月）



	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症（男性）	1.12
性器クラミジア感染症（女性）	1.43
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）	0.40
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）	0.48
尖圭コンジローマ（男性）	0.30
尖圭コンジローマ（女性）	0.22
淋菌感染症（男性）	0.76
淋菌感染症（女性）	0.18

SD：標準偏差

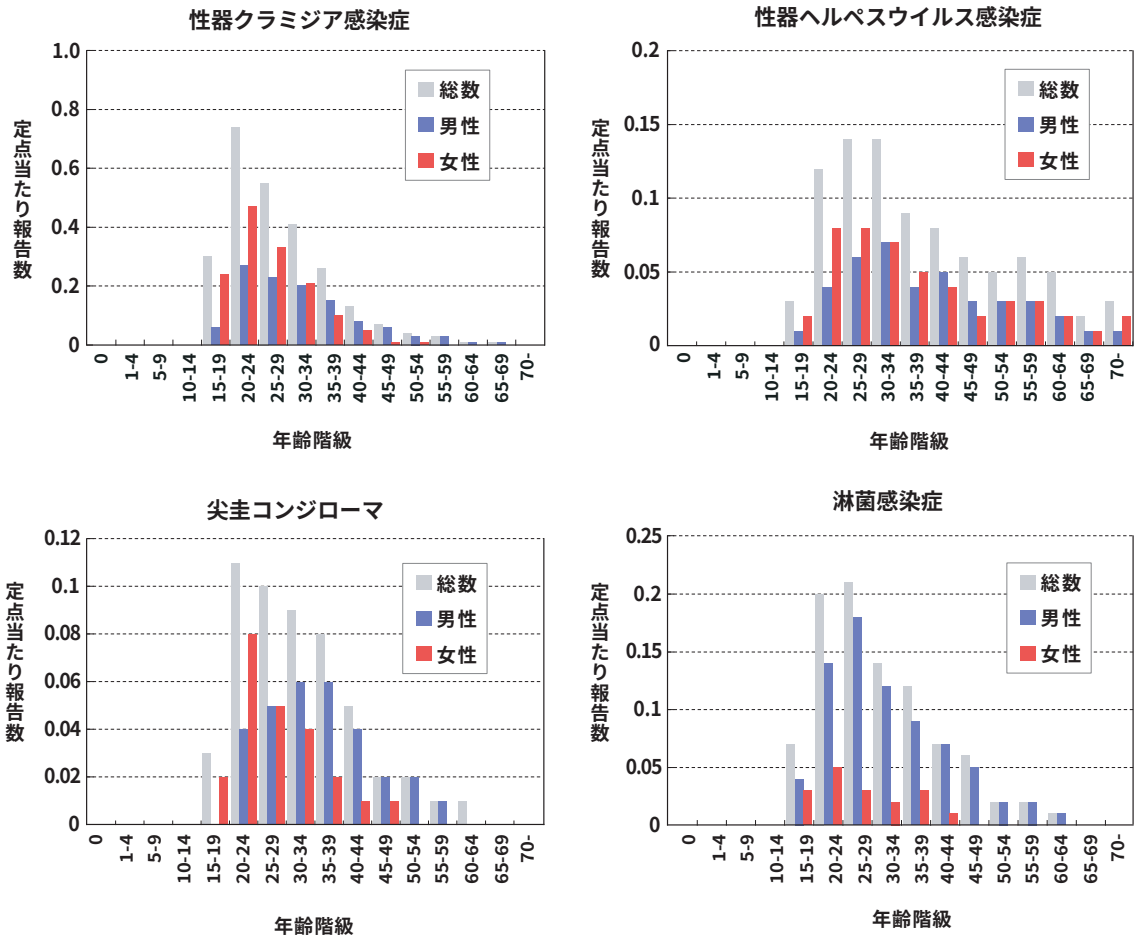
当該月と過去5年間の平均（過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均）との差をグラフ上に表現した。

●男女別・年齢階級別定点当たり報告数

年齢群（0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上）でみた定点当たり報告数のピークは、女性では性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症が20～24歳、性器ヘルペスウイルス感染症が25～29歳であったが、男性では性器クラミジア感染症が20～24歳、性器ヘルペスウイルス感染症が30～34歳、尖圭コンジローマが35～39歳、淋菌感染症が25～29歳であり、男性に比べて女性の方が罹患年齢がやや若い傾向が認められた（**図3**）。性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では男女共に、ピーク以降、年齢が高くなるに従って減少傾向が顕著であり、男性では60代以降、女性では50代以降の報告はないか、あっても僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症では男女ともに、50代以降の報告も少なくない。

15歳以上の年齢群でみた男女の比較では、淋菌感染症では全ての年齢群において男性が女性よりも多いが、性器クラミジア感染症の15～34歳、性器ヘルペスウイルス感染症の40～59歳と65～69歳を除く全て、尖圭コンジローマの15～24歳において、女性が男性よりも多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されるが、男女の比較についてはそれらの比率の影響を受ける可能性がある。

図3. 性感染症の性別・年齢階級別分布（11月）

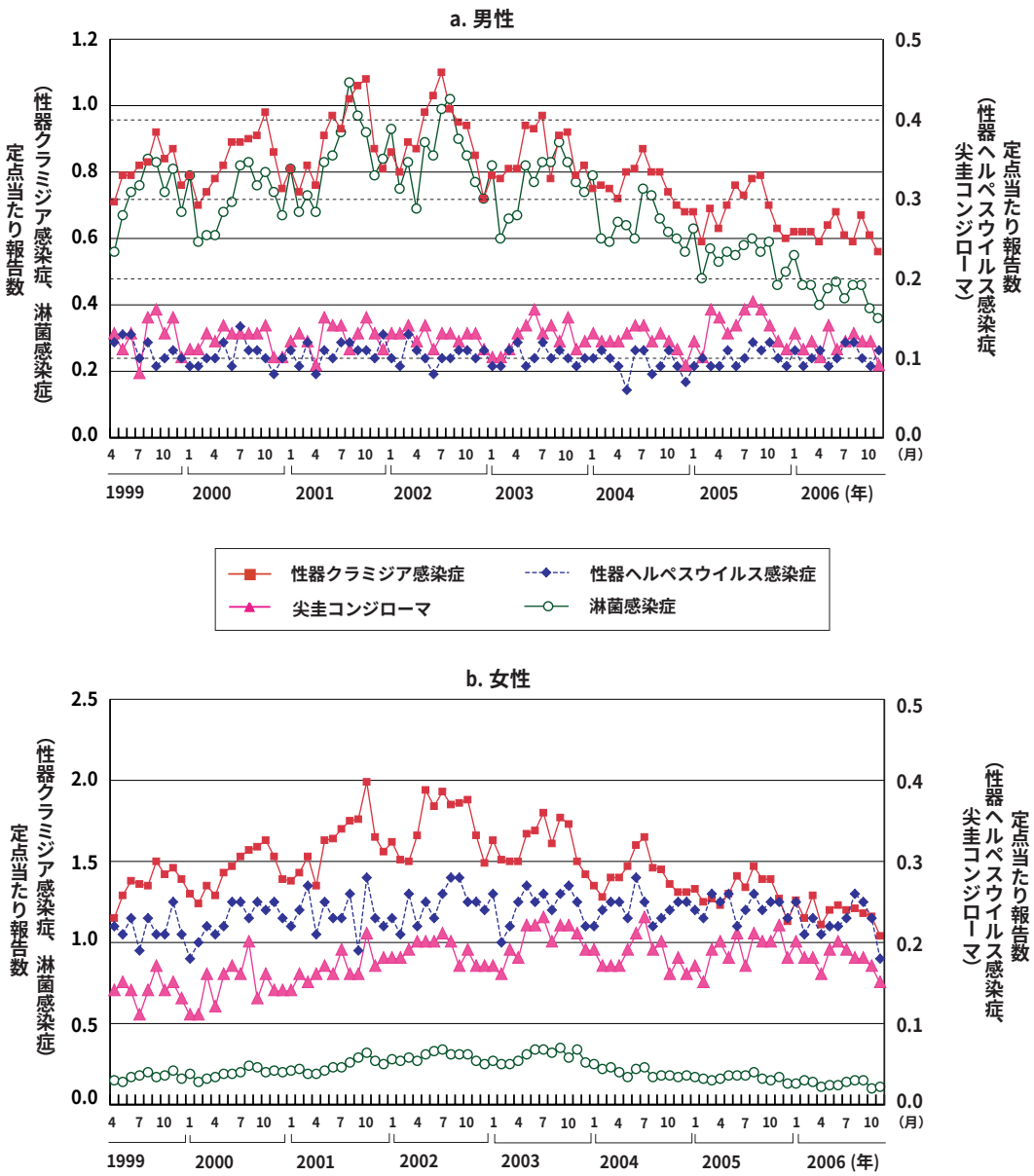


●若年齢層（15～29歳）の定点当たり報告数推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層（15～29歳）における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に**図4**に示した。2001年以降、男女ともに性器クラミジア感染症と淋菌感染症は減少傾向がみられ、性器ヘルペスウイルス感染症と尖圭コンジローマはほぼ横ばい傾向である。前月との比較では、男性では性器ヘルペスウイルス感染症が微増したが、他の3疾患は減少し、女性では淋菌感染症が微増したが、他の3疾患は減少した。

注：本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈する必要があります。詳細はIDWR週報2000年第46週号（10月報）4ページの説明を参照してください。

図4. 若年齢層における性感染症の年別・月別推移（15～29歳、1999年4月～2006年11月）



◆薬剤耐性菌感染症について（12月11日集計分）　基幹定点数（11月）：458

●月別

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

3.98（前月：4.18、前年同月：3.81）

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。11月は前月より減少し、過去7年間の同月との比較では最も多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染症

0.88（前月：0.86、前年同月：1.31）

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて（4～6月）と冬（11、12月）に多く、夏（7～9月）に少なく推移している。11月は例年増加する時期であるが、今年の11月は前月とほぼ同じで、過去7年間の同月との比較では低位に属した。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.11（前月：0.23、前年同月：0.17）

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比してわずかに多い傾向がある。11月は前月より大幅に減少し（報告数で50%の減少）、過去7年間の同月との比較では中位に属した。

●年齢階級別

MRSA感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の65%を占めている（**図1**）。

PRSP感染症…小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の62%を占める一方、65歳以上が全体の21%を占めている（**図2**）。

薬剤耐性緑膿菌感染症…高齢齢者に多く、70歳以上が全体の65%を占めている（**図3**）。

●性別（女性を1として算出した男女比）

MRSA感染症…男：女＝1.7：1

PRSP感染症…男：女＝1.5：1

薬剤耐性緑膿菌感染症…男：女＝1.5：1

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

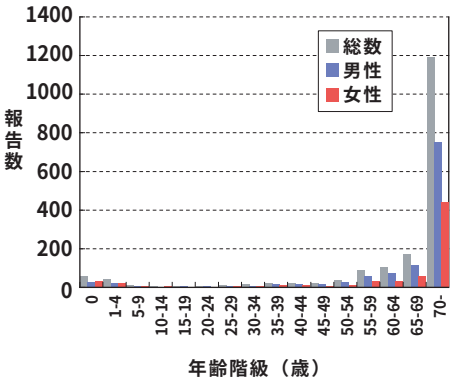


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

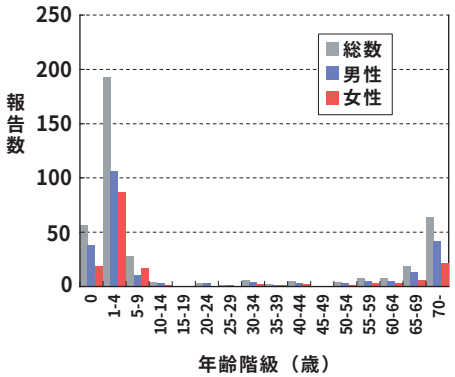
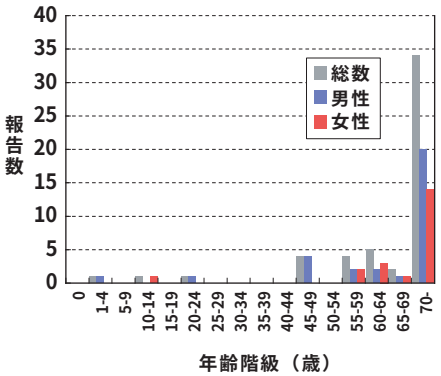


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



●都道府県別

MRSA感染症…定点当たり報告数は栃木県（8.6）、岐阜県（6.4）、愛知県（6.4）が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は富山県（6.0）、千葉県（4.3）が突出して多く、富山・千葉県は過去8カ月にわたり上位1、2位であった。ついで高知県（2.7）が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症…報告総数が52件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

◆結核サーベイランス月報（12月21日集計分）

11月の新登録患者数は2,087人（男性1,343、女性744人）で、このうち活動性肺結核患者は1,708人（うち喀痰塗抹陽性者は769人）であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都（275人）、大阪府（大阪市を除く）（136人）、大阪市（110人）、愛知県（名古屋市を除く）（100人）、千葉県（千葉市を除く）（97人）が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は160人であった。

*マル初者…結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告（http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm）をご覧ください。

2005年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所ホームページ（http://www.jata.or.jp/rit/rj/data_tp.html）をご覧ください。

注目すべき感染症

◆インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする呼吸器感染症であるが、「重くなりやすい疾患」で、一般の「かぜ症候群」とは分けて考えるべきある。温帯地域およびそれよりも緯度の高い地域では毎年冬季に大きな流行がみられ、日本を含めた北半球では1～2月頃に、オーストラリアなどの南半球では7～8月頃に流行のピークを迎える。また、熱帯地域では年間を通して、亜熱帯地域では雨季を中心に発生がみられる。日本では毎年12月末～1月初旬に流行が始まり、その後急激に発生が増加し、1月最終週～2月第1週に流行のピークを迎えることが多い。国内の患者発生数は推定で、2004/05シーズンには約1,770万人（IASR, Vol. 26, No. 11, p287-288, 2005）、2005/06シーズンには約1,116万人（IASR, Vol. 27, No. 11, p293-294, 2006）とされている。

感染症発生動向調査によれば、2006年第50週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.21（報告数954）であり、まだ1.00を超える全国的な流行とはなっていない（**図1**）。都道府県別では宮崎県（4.28）、大分県（1.91）、岐阜県（1.45）、沖縄県（0.97）、滋賀県（0.87）、広島県（0.83）の順であり、注意報レベルを超えている保健所地域を有する宮崎県（2保健所）と大分県（1保健所）などの九州地方において、地域的な流行が拡大傾向にある。

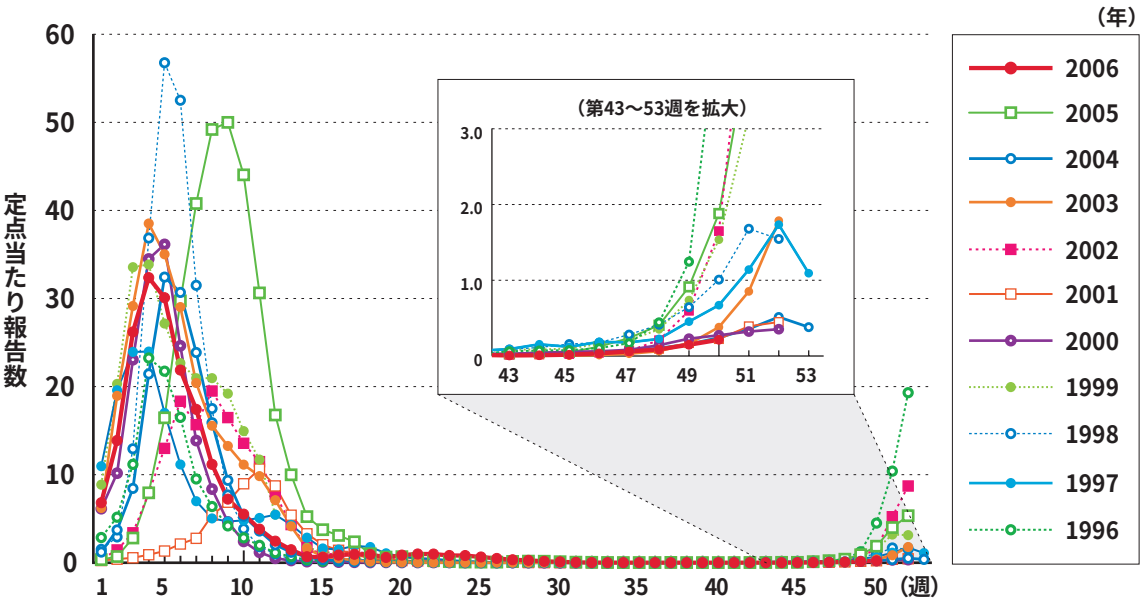


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況（1996年～2006年第50週）

第36週以降、これまでに報告されたインフルエンザウイルスの分離については、B型18件（50.0%）、AH1（Aソ連）型13件（36.1%）、AH3（A香港）型5件（13.9%）の順となっている（**図2**）。

1996/97シーズン以降の過去10シーズンでは、第50週の定点当たり報告数が0.3を下回っていたのは計3回あったが（2000/01シーズン：0.27、2001/02シーズン：0.22、2004/05シーズン：0.24）、これらの3シーズン共に流行開始は1月以降であり、ピークは第6週以降にみられている。しかし、流行開始が遅くても流行規模が小さくなるとは限らず、上記の2004/05シーズンでは流行の開始、ピーク共に例年よりも遅かったが、流行規模は過去10シーズン中で最大であった。今後とも、インフルエンザの発生動向には注意が必要である。

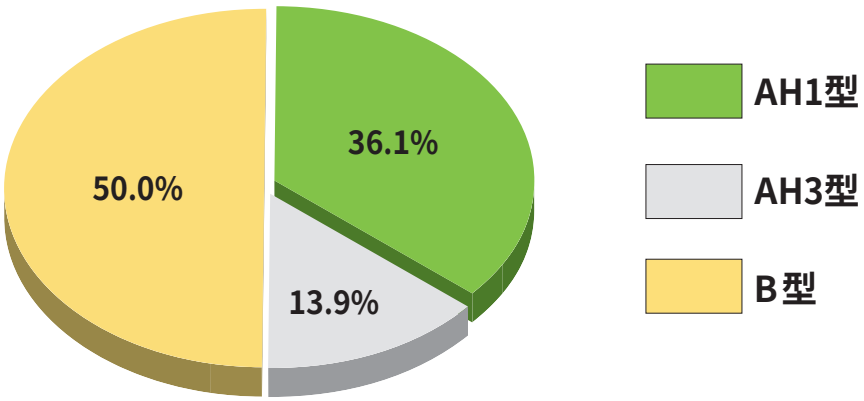


図2. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離状況（2006年第36～50週）

◆感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様の病原体による疾患を包含する症候群であり、全国約3,000カ所の小児科定点から毎週報告がなされている。発生が増加するのは主に冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが原因であると推測されている（IASR, Vol. 24. No. 12. p321-322）。例年、わが国の感染症発生動向調査による報告のピークは12月中旬以降となることが多く（**図1**）、その時期の報告、特に集団発生例の多くはノロウイルスによるものと推測される（http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-kj.html）。

ノロウイルスの感染経路としてはこれまで、食中毒による経口感染がよく知られていたが、むしろ発病者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触や、発病者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒトーヒト感染による感染拡大が流行の原因となることが多いと思われる。ノロウイルスのヒトーヒト間での感染力は非常に強い。ヒトーヒト感染の予防法として重要であるのは、流水・石鹸による手洗いの徹底であり、また嘔吐物・下痢便の適切な処理と消毒である。嘔吐物や下痢便は残らずふき取った上で密封して破棄し、ふき取った跡は広めに塩素系消毒剤（濃度200 ppm以上）で消毒することが推奨されている（感染症情報センターホームページ「ノロウイルス感染症とその対応・予防」http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/index.html）。

感染性胃腸炎の2006年第50週の定点当たり報告数は22.8（報告数68,950）となり、第49週の値（22.2）を更に上回ったが、西日本では前週と比べて減少している地域も多くみられる。都道府県別の定点当たり報告数では、福井県（43.3）、愛媛県（36.1）、宮城県（33.7）、埼玉県（33.3）、長野県（31.7）、福島県（31.6）、神奈川県（31.3）、千葉県（30.3）、山口県（27.8）、新潟県（27.5）の順となっており、関東・東北地域での増加が目立っている（**図2**）。

感染性胃腸炎の流行は全国規模となり、現在ほぼピークを迎えつつあると考えられるが、今後とも、その発生動向には注意が必要である。

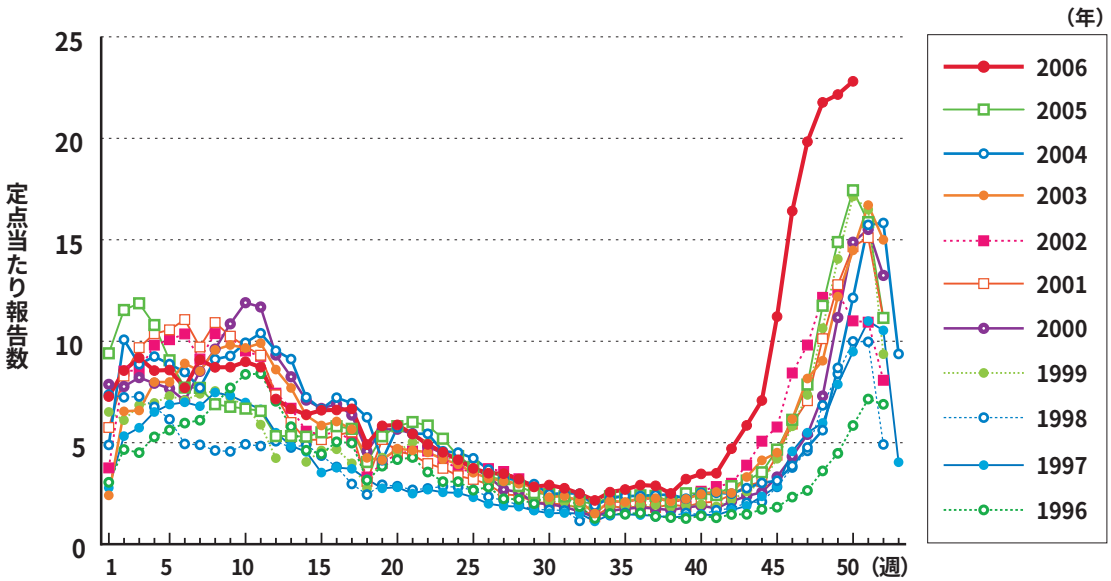


図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況（1996年～2006年第50週）

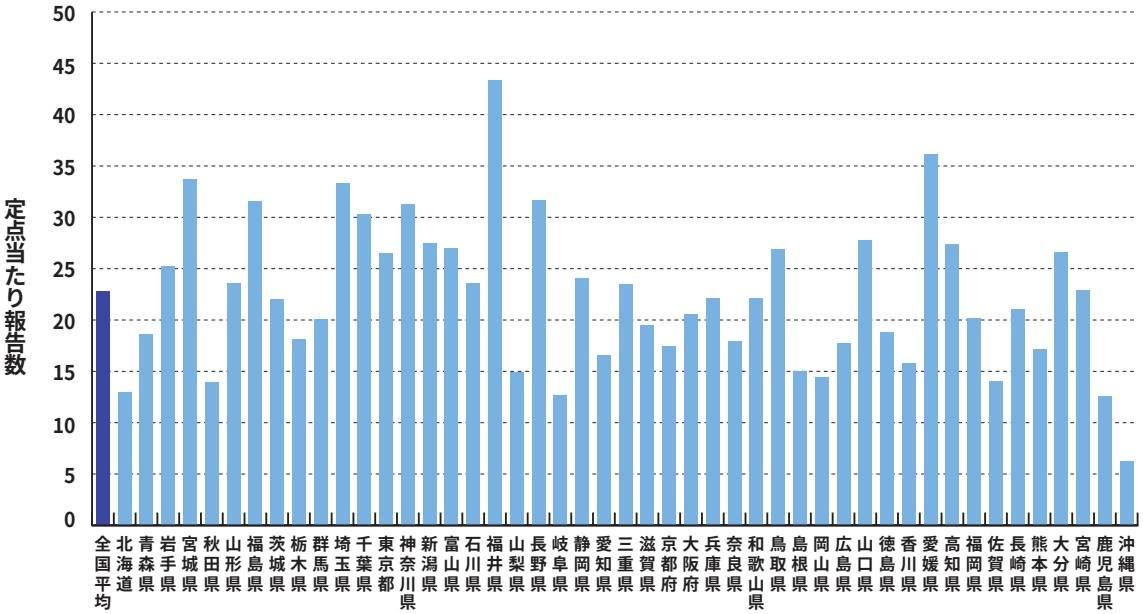


図2. 感染性胃腸炎の都道府県別報告状況（2006年第50週）

病原体情報

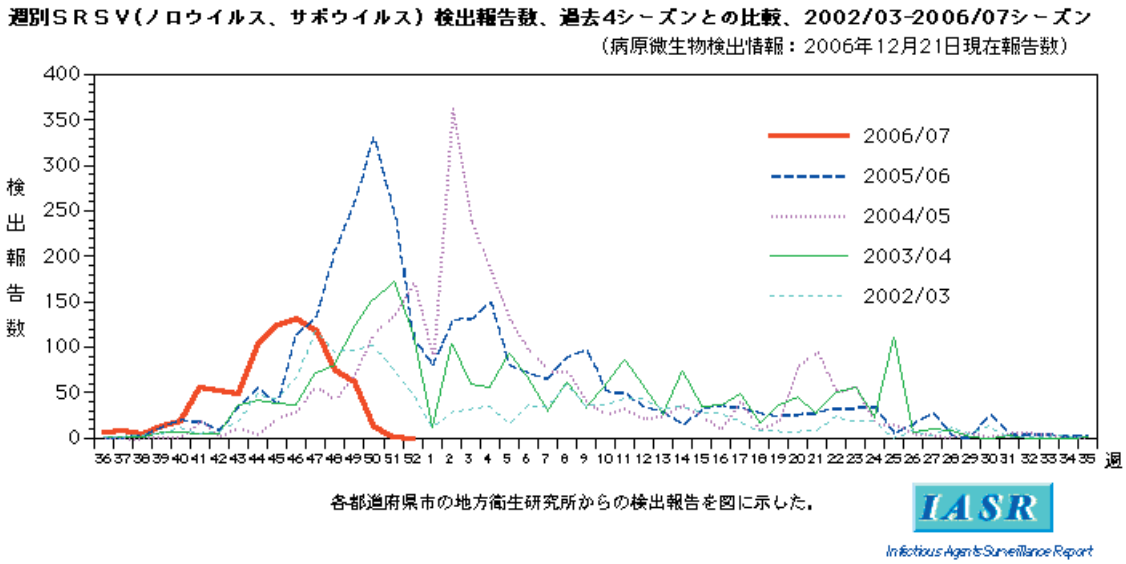
＊グラフはIASRホームページ（http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html）からの引用です。
　各都道府県市の地方衛生研究所（地研）からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

（2006年12月21日現在報告分）

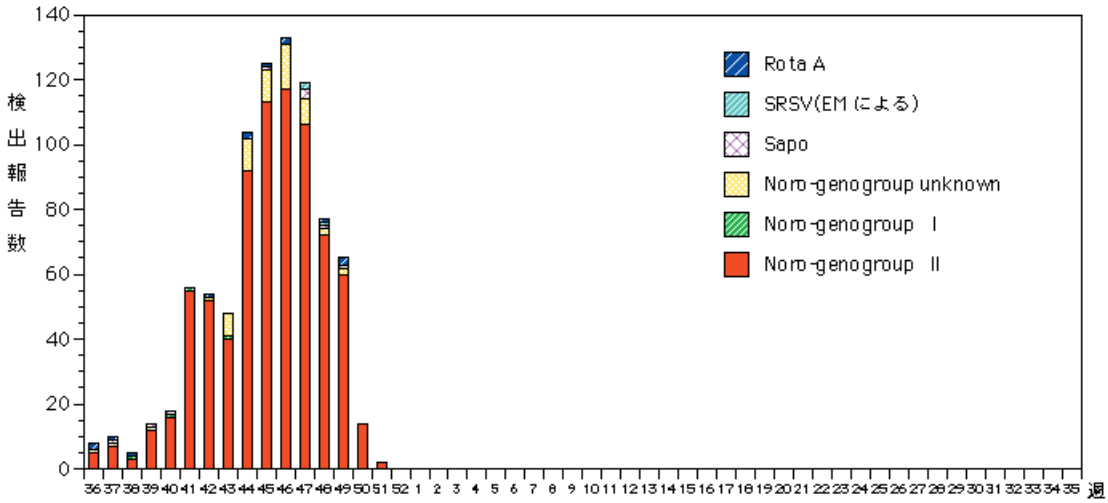
◆感染性胃腸炎関連ウイルス　2006/07シーズン

　例年に比べ立ち上がりが早く、ノロウイルスgenogroup IIが増加している。genogroup IIは大阪府、愛媛県、滋賀県、秋田県、静岡県、高知県、福岡県、新潟県、京都府、山形県など25府県から計766件が報告され、genogroup Iは千葉県、神奈川県、島根県、広島県から計4件、サポウイルスは高知県、熊本県、愛媛県、千葉県から計9件、A群ロタウイルスは東京都、京都府、千葉県、静岡県、徳島県から計13件報告されている。

　また、genogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告が増加しており（前号「速報」参照）、これまでに9月4事例、10月41事例、11月55事例、12月5事例、計105事例が報告されている（1事例ではgenogroup IとIIを検出）。このうち、ノロウイルスの遺伝子型別まで実施された23事例はすべてGII/4と報告されている。この他、1事例ではgenogroup Iが検出されている（http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html）。



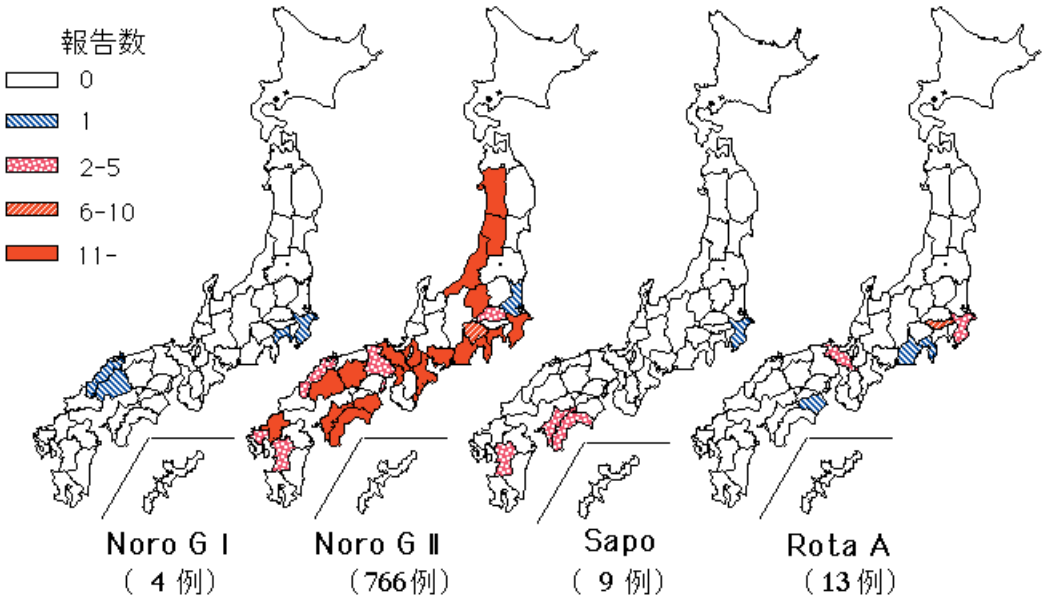
週別SRSV＆ロタウイルスの検出報告数、2006/07シーズン　（病原微生物検出情報：2006年12月21日現在報告数）



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

IASR Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
（病原微生物検出情報：2006年12月21日現在報告数）



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

IASR Infectious Agents Surveillance Report

◆インフルエンザウイルス　2006/07シーズン

AH1亜型13件、AH3亜型5件、B型19件が報告されている。

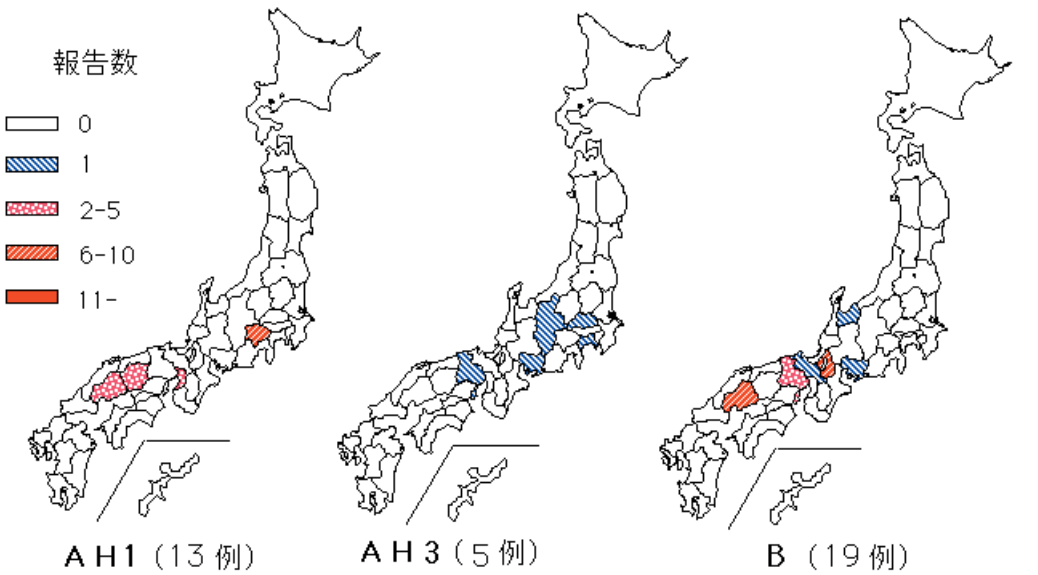
AH1亜型は第39週に大阪府で香港から帰国した母親から感染した小児から2件、岡山県で中国から帰国した父親から感染した小児などから3件、計5件（分離4件、PCR検出1件）が報告された後、第45週に広島県で1件、第46週に山梨県で家族内発生例から4件、第47週に山梨県で2件、第49週に広島県で1件の分離が報告されている。

AH3亜型は第37週に兵庫県でフィリピンから帰国した成人から1件PCRで検出され、第42週に埼玉県で幼稚園集団発生例から1件、第47週に愛知県で1件、第49週に神奈川県で家族内発生から1件、第50週に長野県で1件の分離が報告されている。

B型は第36週に富山県でタイから帰国した小児から1件、第38週に滋賀県で1件と広島県の地域小流行から2件分離された後、第43週に京都府で1件、第44週に広島県で1件、第45週に滋賀県の小学校集団発生例から5件（本号18ページ「速報」参照）、第46～48週に再び広島県の地域流行から5件、第49週に兵庫県で家族内発生例から2件、愛知県で小学校集団発生例から1件が分離されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン

（病原微生物検出情報：2006年12月21日現在報告数）

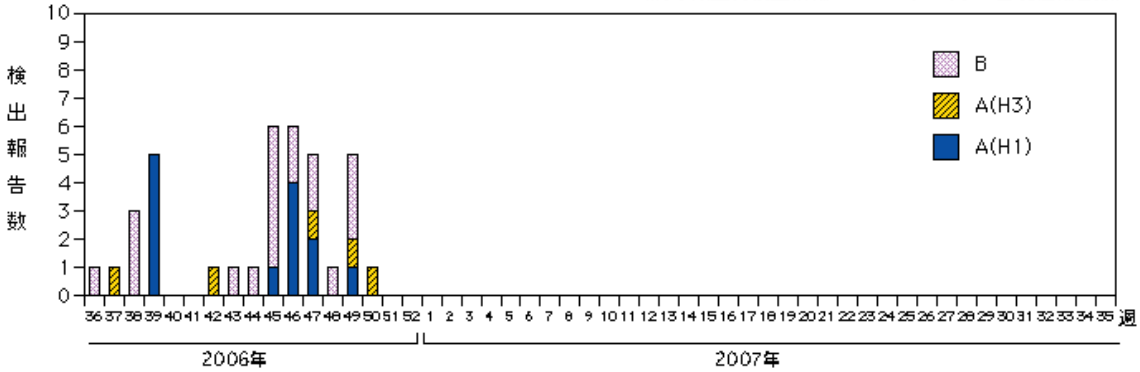


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。

IASR Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

（病原微生物検出情報：2006年12月21日現在報告数）



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

速報

◆今冬初発集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離－滋賀県

2006年11月、滋賀県内において、2006/07シーズン初となる集団かぜ事例からB型インフルエンザウイルスが分離されたので、その概要を報告する。

2006年11月6日、滋賀県内の小学校1クラスで集団かぜが発生し、学級閉鎖が実施された。かぜ症状で欠席している12名について所管保健所が調査したところ、12名の発病日は10月31日～11月6日、主症状は発熱（37.7℃～40.4℃）で、その他に頭痛、下痢、嘔吐などが認められた。このうち、協力の得られた11名からうがい液を採取し、当所においてMDCK細胞を用いたインフルエンザウイルスの分離を行ったところ、11件中5件について、MDCK細胞初代培養3日目から細胞変性効果が認められた。それらの培養上清は、モルモット赤血球（0.6%）を用いた赤血球凝集（HA）試験でHA価32～64を示した。そこで、これらの分離株について、国立感染症研究所より分与された2006/07シーズン用インフルエンザウイルス同定キットを用いて、赤血球凝集抑制（HI）試験を行ったところ、抗B/Malaysia/2506/2004血清（ホモ価320）に対してはHI価320を示したのに対し、抗A/New Caledonia/20/99（H1N1）血清（同640）、抗A/Hiroshima（広島）/52/2005（H3N2）血清（同1,280）および抗B/Shanghai（上海）/361/2002血清（同320）にはいずれもHI価＜10であったことから、分離株はVictoria系統のB型ウイルスであることが判った。

滋賀県感染症発生動向調査におけるインフルエンザ定点当たり患者数によると、昨シーズン（2005/06シーズン）におけるインフルエンザ流行の始まりは2005年第50週で、2006年第4週にピークを形成した後減少し、第14週に患者数が1.0人/定点以下となり、終息に向かうと思われたが、第17～18週および第22週に再び1.0人/定点を超え、その後第25週にほぼ終息した。

2005/06シーズンの流行期を終えた後も、当所において2株のB型インフルエンザウイルスが分離されている。1例目は、2006年6月2日（第22週）に集団かぜが発生していた1クラスの1名から分離された株で、他の1例は、2006年9月22日（第38週）に県内医療機関を受診したインフルエンザ様疾患患者1名から分離された株であり、これらはいずれもVictoria系統のB型であった。今回の事例は、同系統ウイルスが昨シーズンから引き続き分離されたものと考えられる。

今回のウイルス分離以降、インフルエンザ患者報告数はわずかに増加が見られるものの、まだ本格的な流行は迎えておらず、当所でもウイルスは分離されていない（第49週現在）。今後のウイルスの動向および流行状況を監視するため、引き続き慎重なサーベイランスが必要である。

滋賀県衛生科学センター
田中千香子　松本文美絵　長谷川嘉子　大内好美　吉田とも江　林　一幸
辻　元宏

（IASR 2007年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照）

海外感染症情報

＊関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ（http://www.forth.go.jp/）をご覧下さい。

●トーゴでの黄熱の流行

WHO/EPR　2006年12月19日

2006年12月18日、トーゴの保健省は、北部の隣接する2つの地区、Kara地域Dankpen地区とSavanes地域Oti地区における、3例の黄熱患者を報告した。

セネガル・ダカールにあるパスツール研究所で、検査によって3人の患者（9歳、15歳、20歳の男性）で黄熱の診断が確定した。

現在、保健省とWHOトーゴ事務所からのチームが現地調査を行っている。この地域で集団予防接種キャンペーンが最後に行われたのは1987年であったため、住民全体が（黄熱に対して）高度に感受性の状態であることが懸念されている。保健省は、WHOおよびUNICEFの協力を得て集団予防接種キャンペーンを行なうため、「黄熱コントロールのためのワクチン供給に関する国際的調整グループ（ICG）」に追加のワクチン提供を求める予定である。「予防接種世界同盟（GAVI）」からは、流行への迅速な対応のために、毎年600万人分の黄熱ワクチン備蓄が提供されている。

●高病原性鳥インフルエンザ A/H5N1-情報更新および2006年の概観

Eurosurveillance Weekly　2006年12月21日

鳥インフルエンザ2006年：ヒトでの感染状況：

厳密な検査診断基準を満たしたH5N1型ウイルス感染患者の報告については、2003年分から行われているが、2006年11月29日時点で、WHOに報告されているのは258名である。これらの258名のうち154名（60%）が死亡しているが、この期間を通じて、その高い致死率は低下していない。ヒト感染患者が発生している10カ国では若年層が多いことを考慮しても、感染者は小児や若年成人に偏って発生しており、特に10～29歳の女性での患者発生が顕著である。これは、通常は若年者や女性が家禽の世話をしていることに関係すると考えられる。また、遺伝的な感受性の存在を示唆する家族内患者集積もみられている。無症候性あるいは軽症感染は非常に稀と思われるが、このことを確証するには、確定患者周囲での更なる血清疫学調査が必要である。2006年後半には患者報告数の急激な減少が認められた。しかし、2004年と2005年にも同様の減少があったが、その後再び増加している。ヒト・ヒト感染はその集積の規模でみると、香港で初のヒト・ヒト感染伝播が発生した10年前と同様に、現在も極めて効率の悪い状況にとどまっている。

ヒト感染の感染源は今でも動物：

2003年に高病原性鳥インフルエンザA/H5N1型（アジア株）が再興し、急速に拡大した。家禽に感染した他、多数の東南アジア諸国、特にベトナム、タイ、カンボジア、インドネシアでヒトにも感染した。この感染拡大のメカニズムは不明のままであるが、野鳥の渡りと同程度に、家禽および家禽製品の取引が関係していることが考えられる。2005年5月に中国北西部青海湖で、例外的に多くの種の動物に感染流行したが、アジアを越えたウイルスの拡大における野鳥の役割を示したものと思われる。H5N1型ウイルスは青海湖から中央アジア、ヨーロッパ、一部アフリカの野鳥へと拡大し、トルコ、イラク、アゼルバイジャン、ジブチ、エジプトではヒト感染患者も報告された。

2006年末現在、H5N1型ウイルスによる鳥類の感染は50カ国以上で確認されており、その内の10カ国では、鳥類（そのほぼ全てが家禽）がヒト患者発生の感染源となっている。

一部の国では国内の家禽に感染が定着し、その結果、家禽から住民への感染リスクが持続する事態に直面しているが、他の国では感染はごく一部に留まっている。最近開催された鳥インフルエンザとパンデミック対応計画に関する国際会議で、各国および国際的な関係当局から、鳥インフルエンザ制圧に関する現地対策の報告が行われた。インドネシアで、そしておそらくエジプトでも、H5N1型ウイルスが裏庭養鶏に感染定着したとする証拠がある。中国とベトナムでは、家禽での大規模なワクチン接種計画が進行中である。ベトナムでは今週、メコンデルタ地域で感染事例が発生するまで、家禽での感染報告は2005年以降みられていなかった。中国でのワクチン接種では、家禽140億羽に年間2回（春と秋）の接種を行なうが、これは鳥インフルエンザ予防接種計画としては史上最大規模である。

ヨーロッパ連合（EU）では、H5N1型ウイルスは家禽には感染定着しておらず、2006年春季に少なくとも15カ国でH5N1型ウイルスが野鳥で確認されたにもかかわらず、ヒト感染症例は発生していない。感染した鳥を餌として与えられた一部のネコとマツテン（pine marten）も感染した。感染した野鳥のEUへの移動は、2006年前半にロシアと中央アジアで異常に寒冷な気候が続いたことによる、例外的な事象であった可能性が高い。

EUで家禽感染の予防が成功したことは、主にEU法に基づいて獣医学的対策を強固に、かつ首尾一貫して実行したことによる。その結果、EU域内での家禽の集団発生事例は5件のみであり、しかもそれらは迅速に制圧された。しかし、散発例の報告が続いていることから、H5N1型ウイルスは今後も時に出現する可能性があり、それ故、普段のバイオセキュリティー対策と早期警告体制をゆるめることはできない。2005年と2006年にはドナウデルタ地域で、野鳥と家禽での大規模な感染事例が発生したが、ルーマニア当局はそれらを首尾よく制圧した。ルーマニアは来月EUに加わるため、この地域で感染が再発すれば、EU当局にとって新たな課題となる可能性がある。

ウイルスの持続的な進化：

H5N1型ウイルスが変異することにより、あるいは遺伝子組み換えで同ウイルスゲノムの一部がヒトインフルエンザウイルスに組み込まれることで、ヒトでのパンデミック株が発生するリスクは続いている。さらに、H5N1型ウイルスはその地理的分布を拡大させることで、クレードおよびサブクレード内で遺伝子的に多様化している。2003～2004年にはクレード1株が優勢であったが、その後はクレード2株がより重要となった。クレード2株はその後、3つの異なるサブクレードに進化した。ウイルスのタイプの均衡は変化し続けているが、その理由は不明である。例えば、中国南部の家禽市場調査で検出される最も多いタイプは、2005年以降、福建（Fujian）様株（クレード2、サブクレード3）となっている。幸いにも、遺伝子変異にもかかわらず、同ウイルスのヒトへの影響には有意な変化の兆候は認められていない。しかし、遺伝的な相違があることと、同ウイルスが遺伝子変異を続けていることは重要な検討課題であり、それは各クレード株は抗ウイルス薬耐性が異なり、連続的な遺伝子変異により、「プレパンデミックワクチン」と呼ばれるヒト用H5N1ワクチンの成分に影響するからである。H5型株によるパンデミックが不可避なものであるかどうかは不明であるが、2カ国の政府はすでにプレパンデミックワクチンを購入する方向であり、他の国々も購入を検討中である。

感染症の話

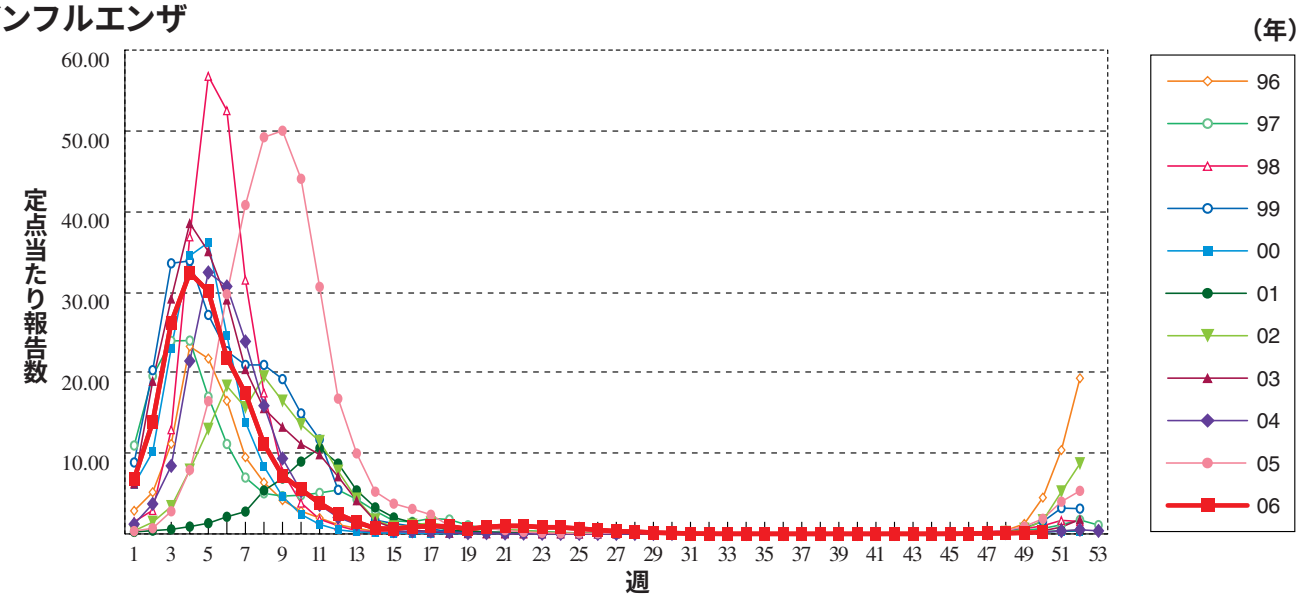
****

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html
でご覧いただけます。

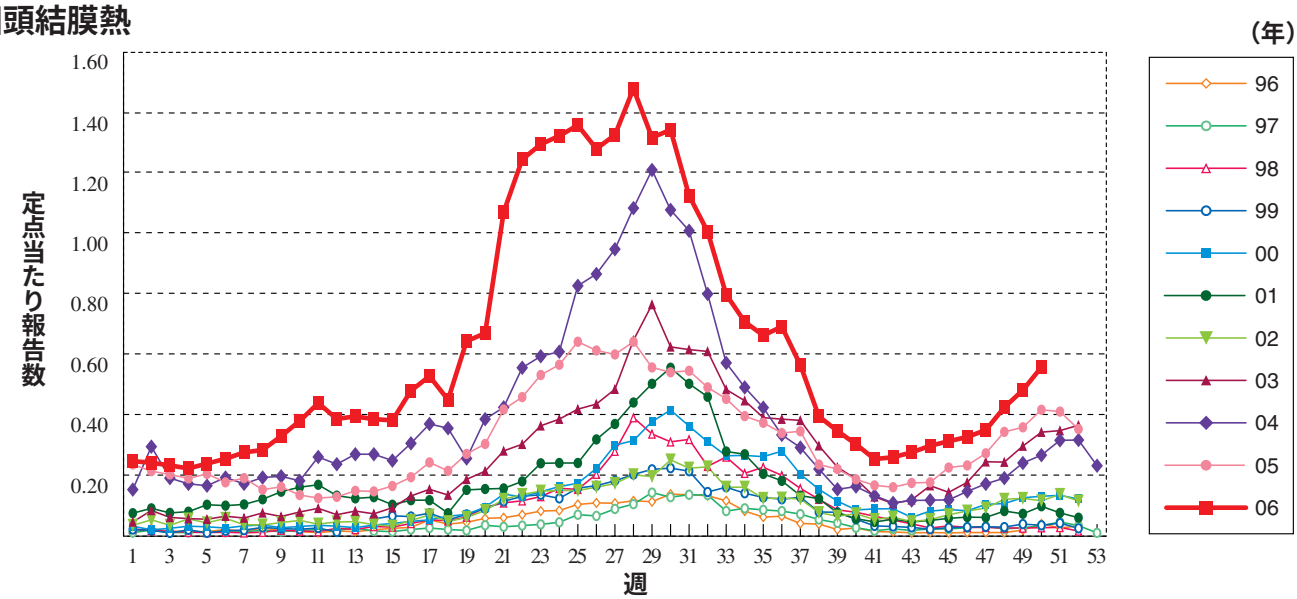
****

グラフ総覧（５０週）

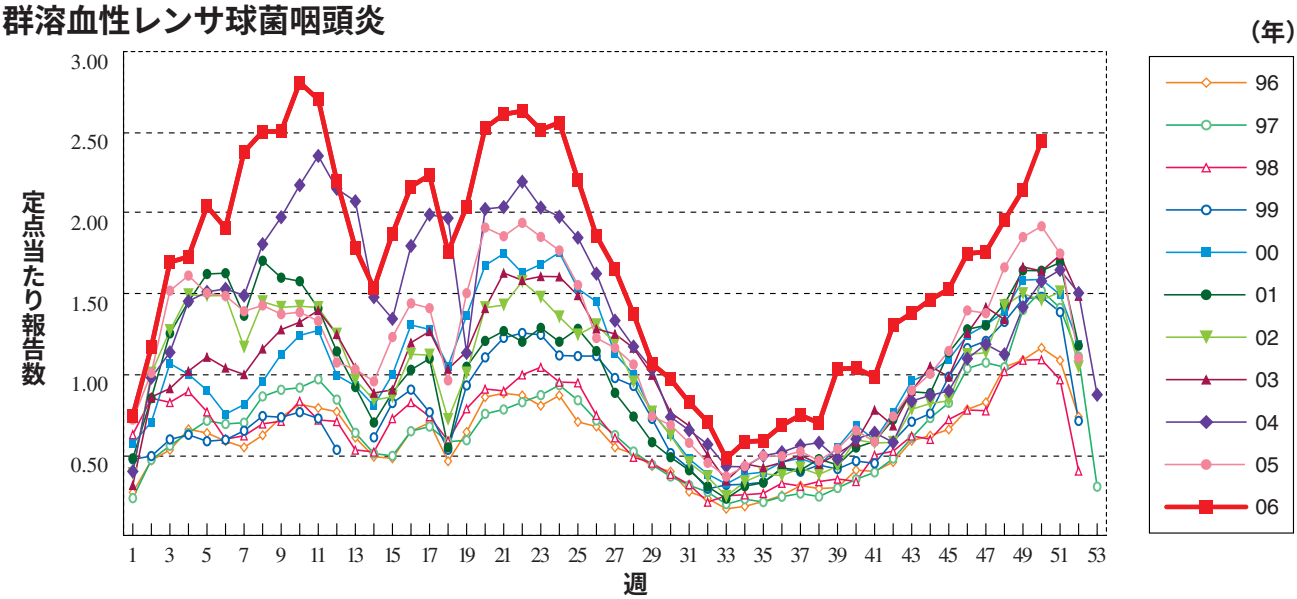
インフルエンザ



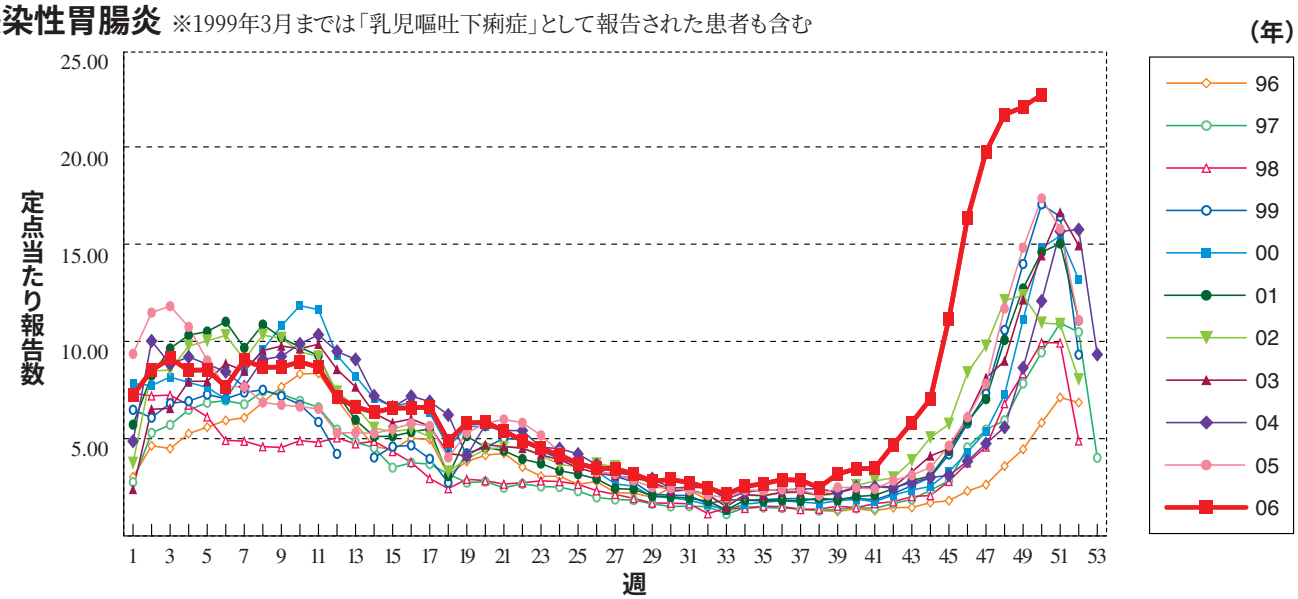
咽頭結膜熱



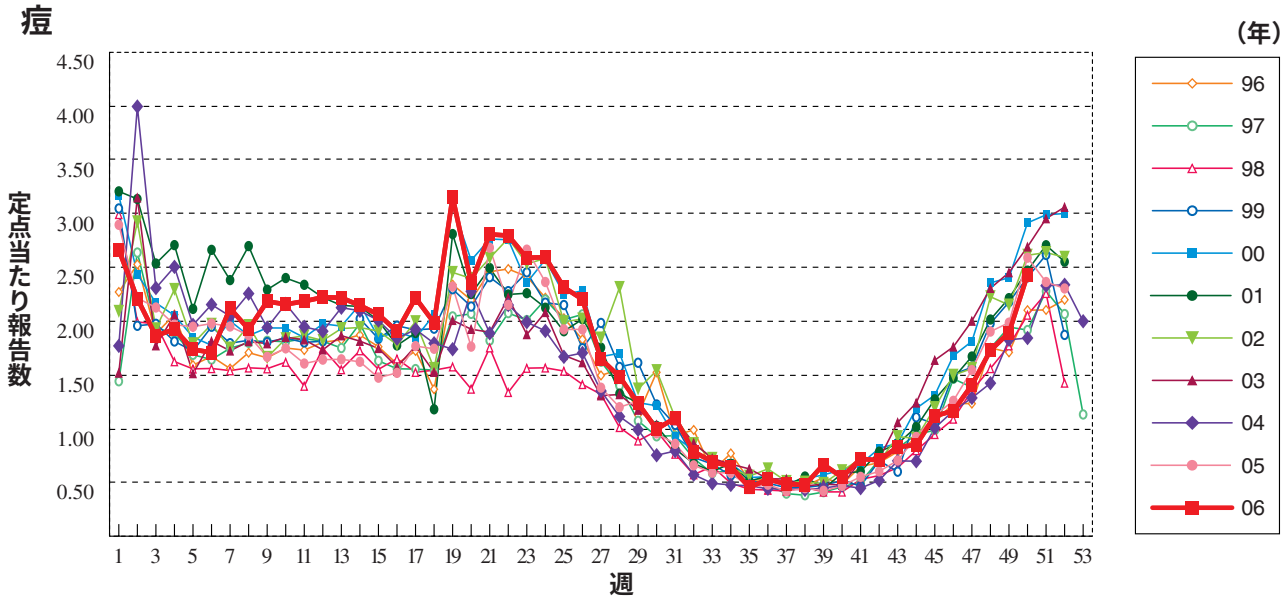
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



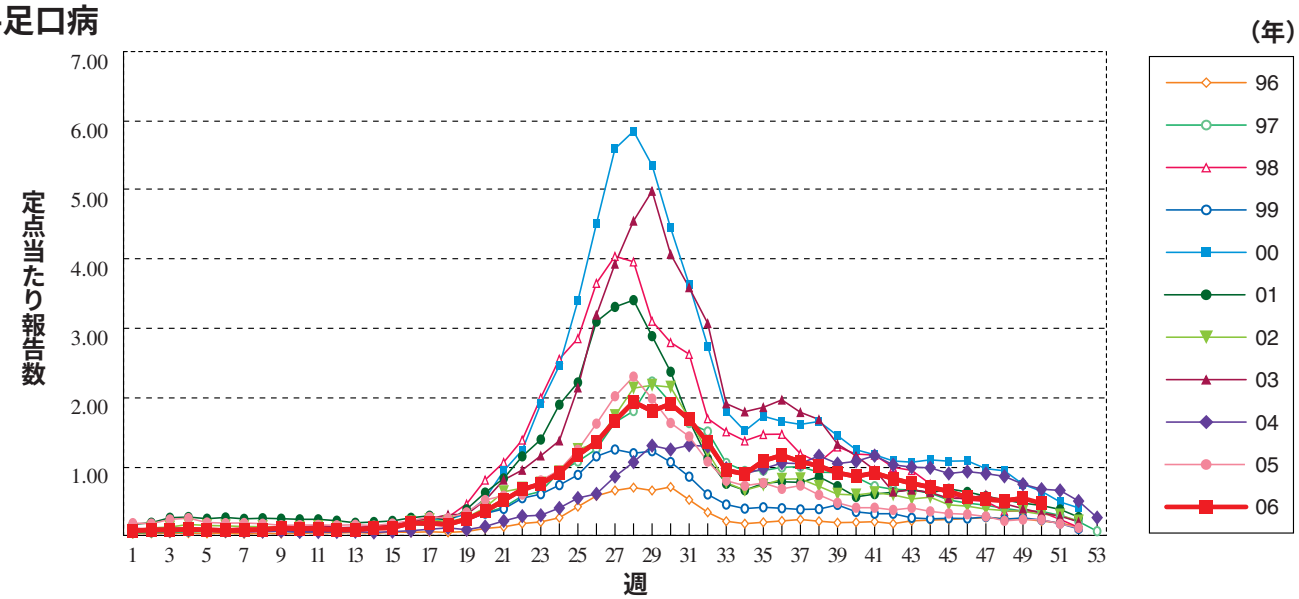
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



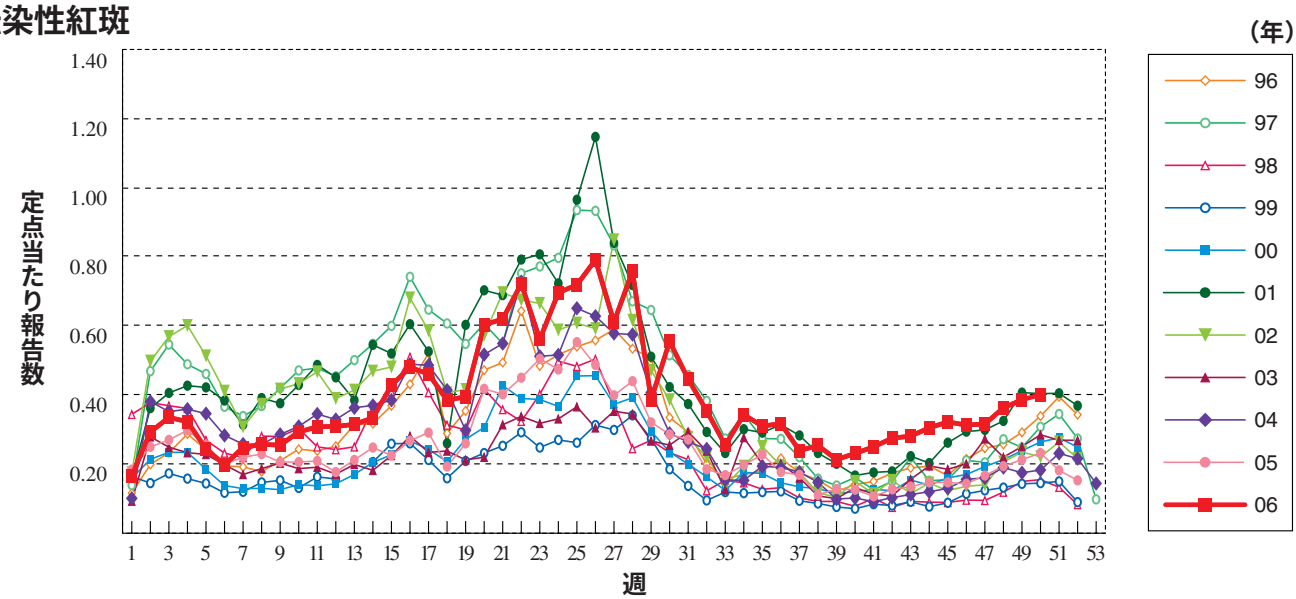
水　痘



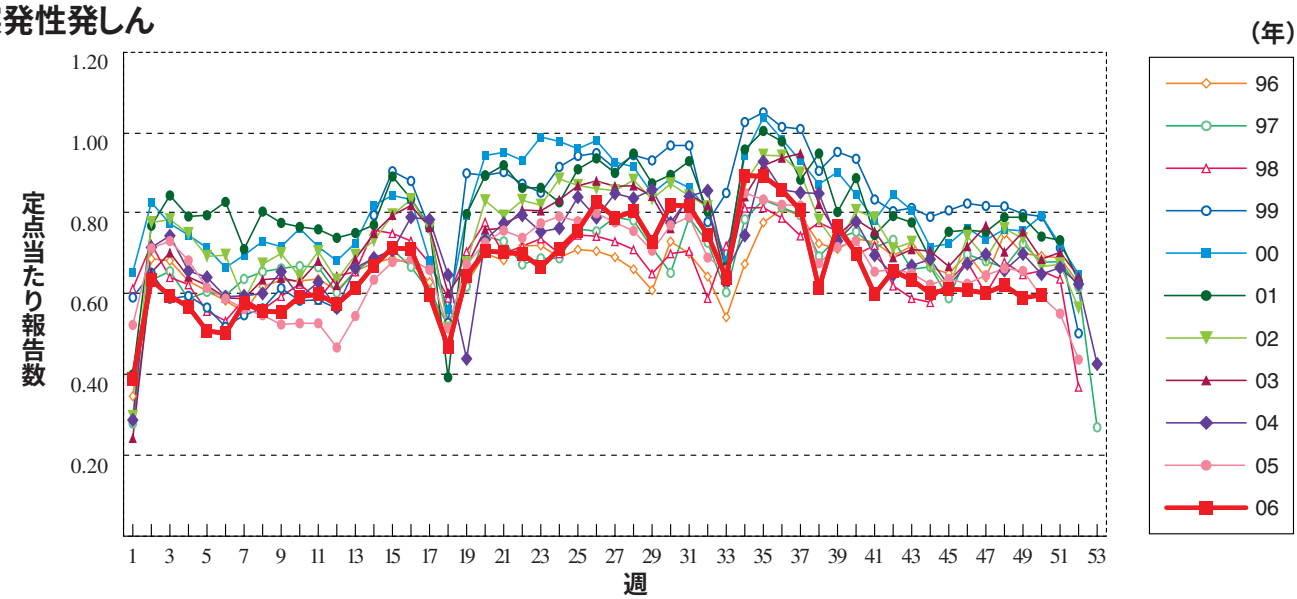
手足口病



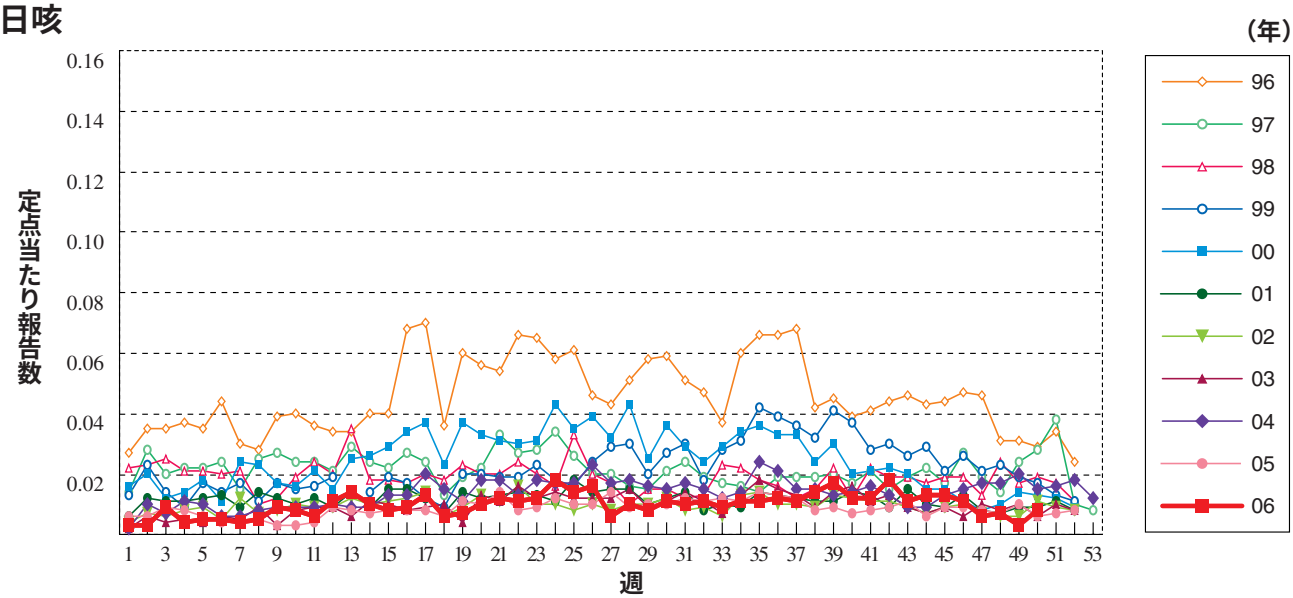
伝染性紅斑



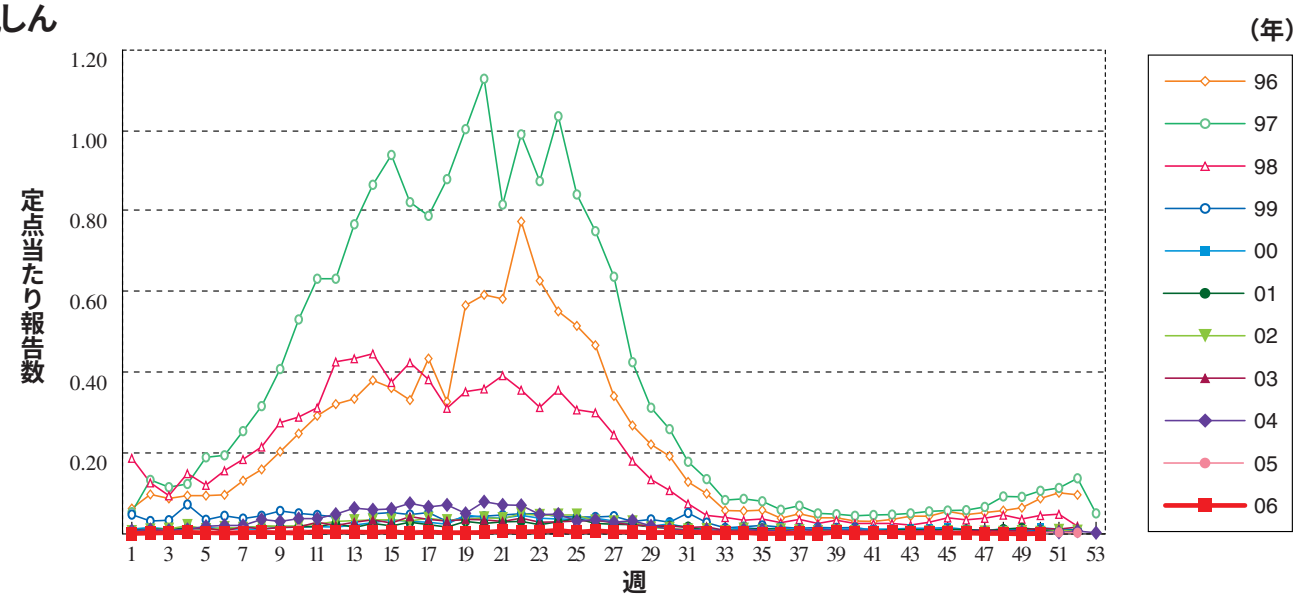
突発性発しん



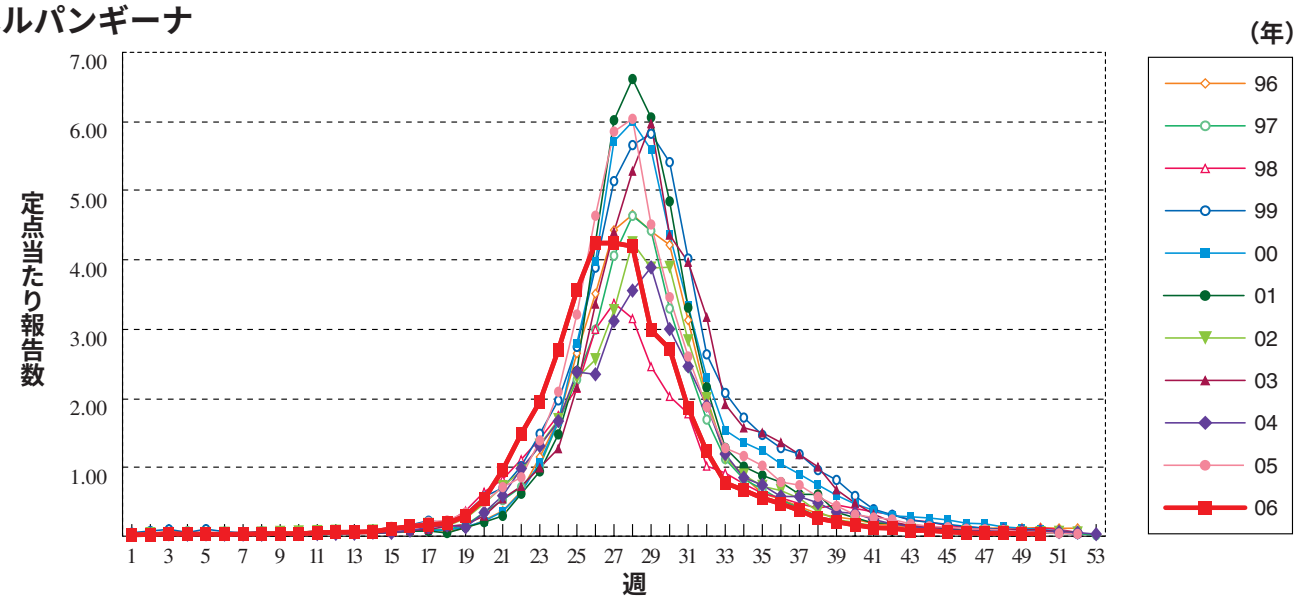
百日咳



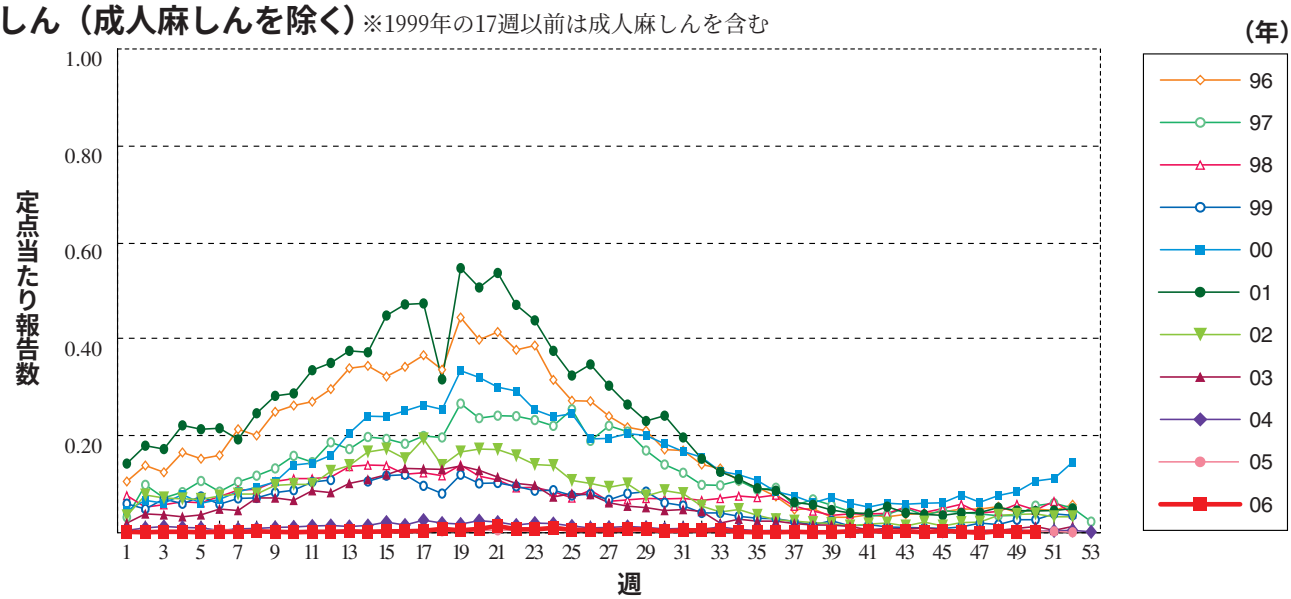
風しん



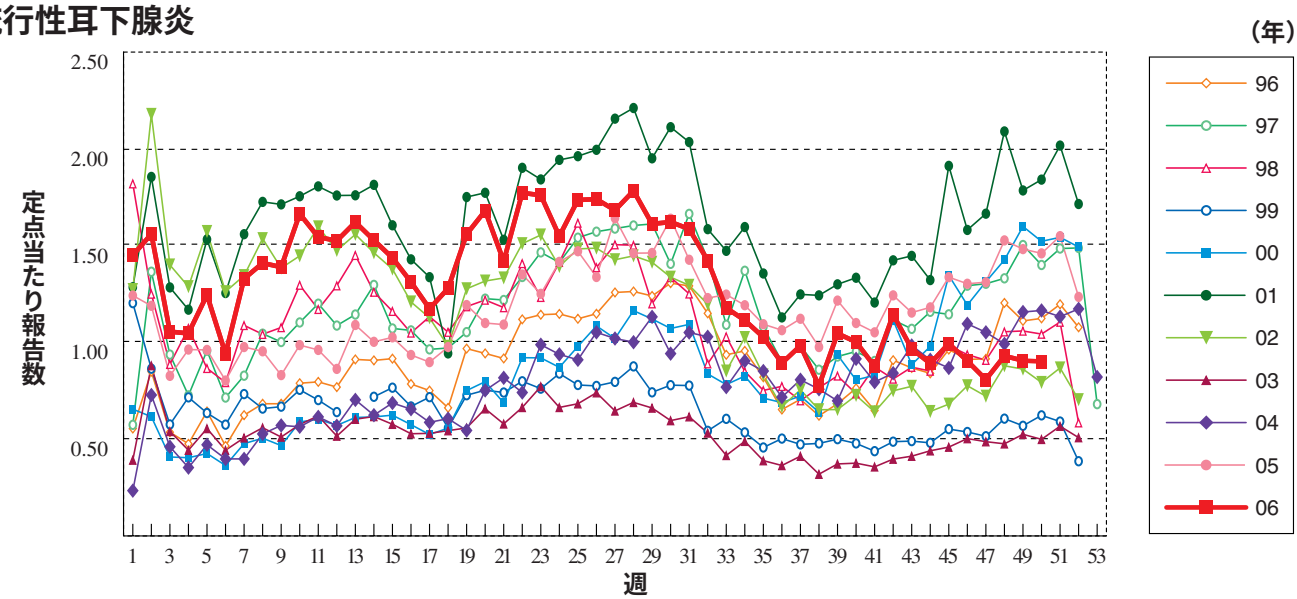
ヘルパンギーナ



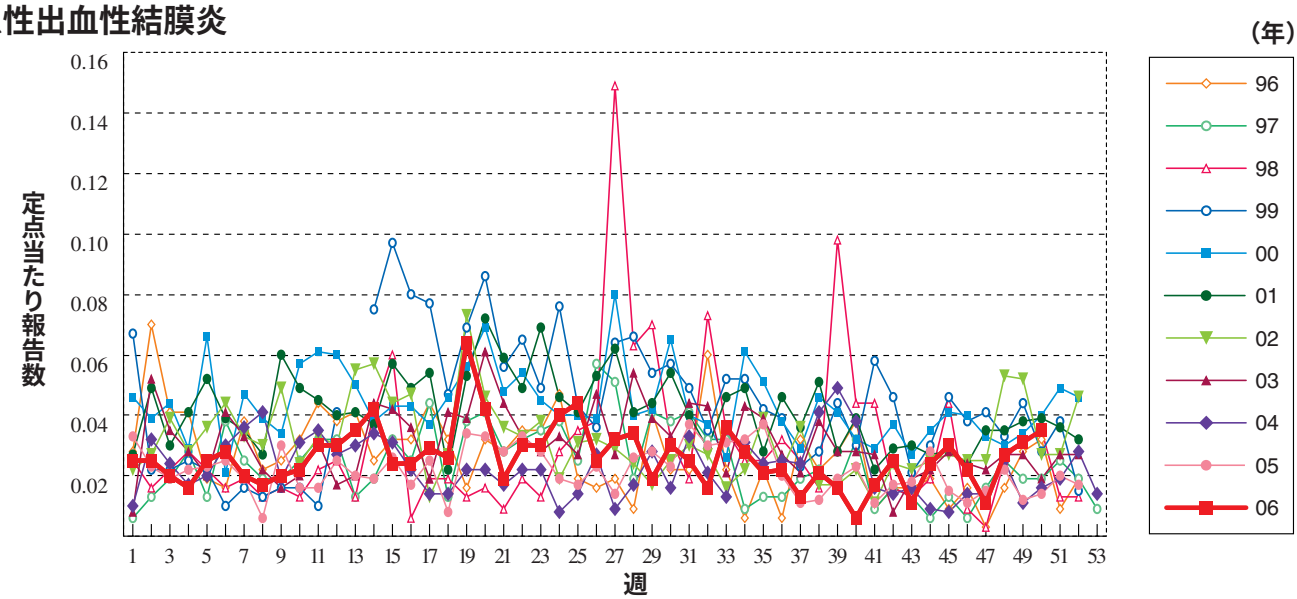
麻しん（成人麻しんを除く）※1999年の17週以前は成人麻しんを含む



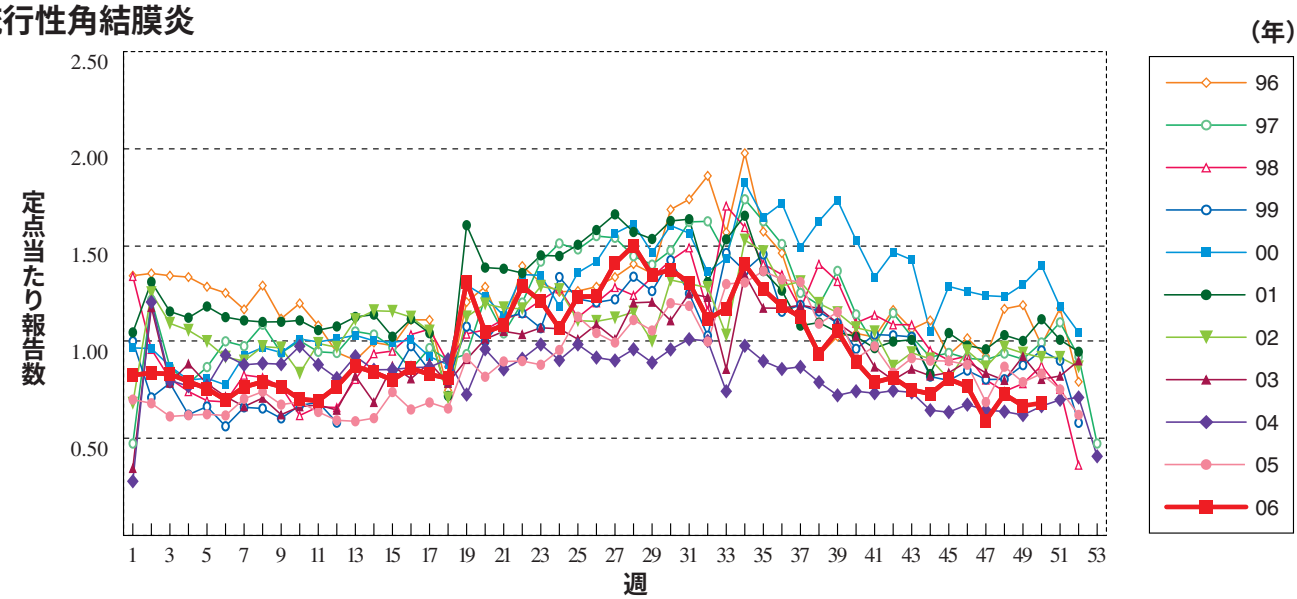
流行性耳下腺炎



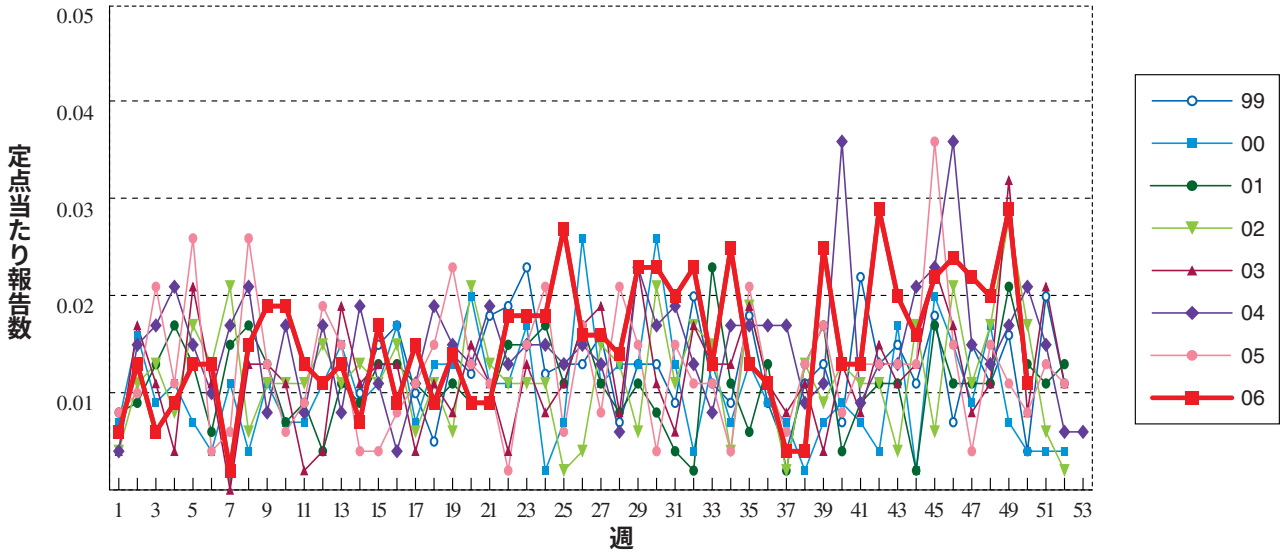
急性出血性結膜炎



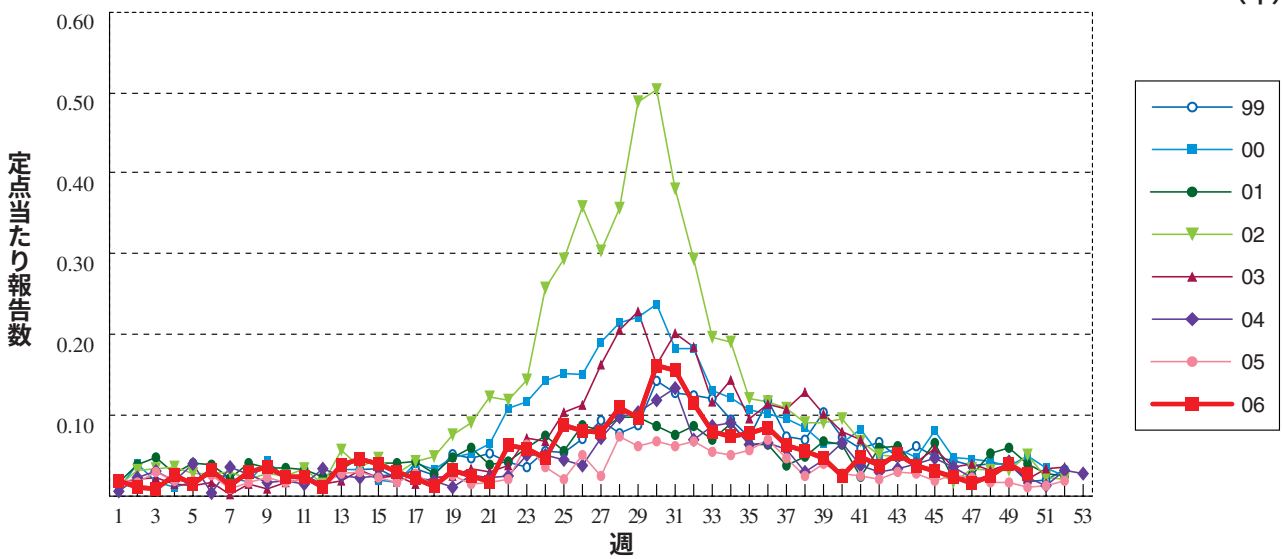
流行性角結膜炎



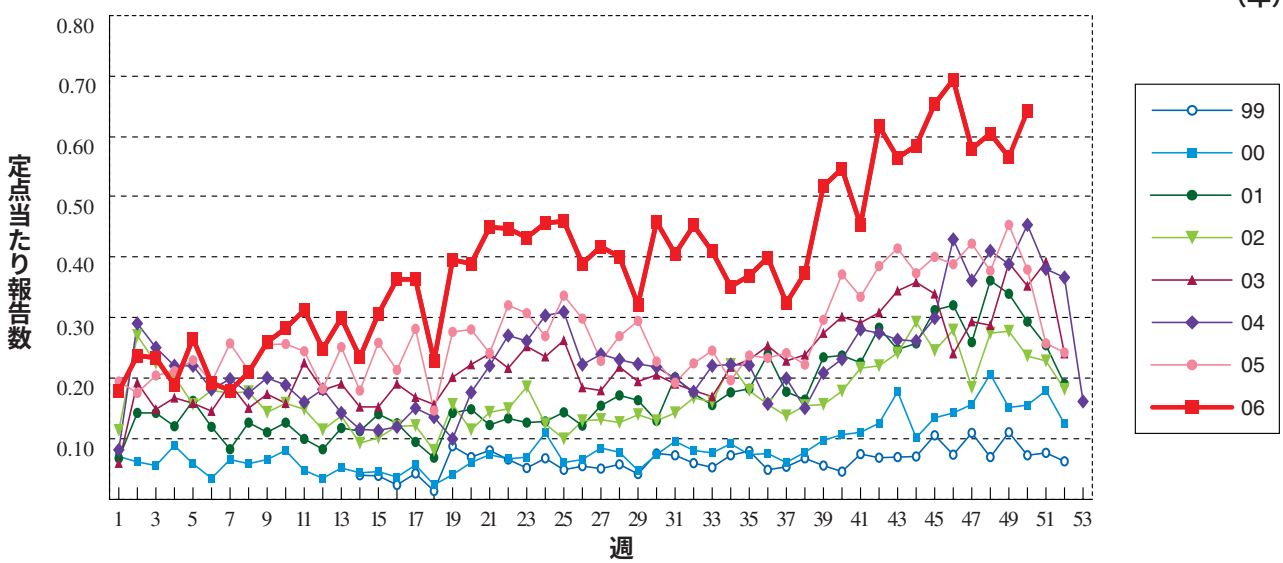
細菌性髄膜炎



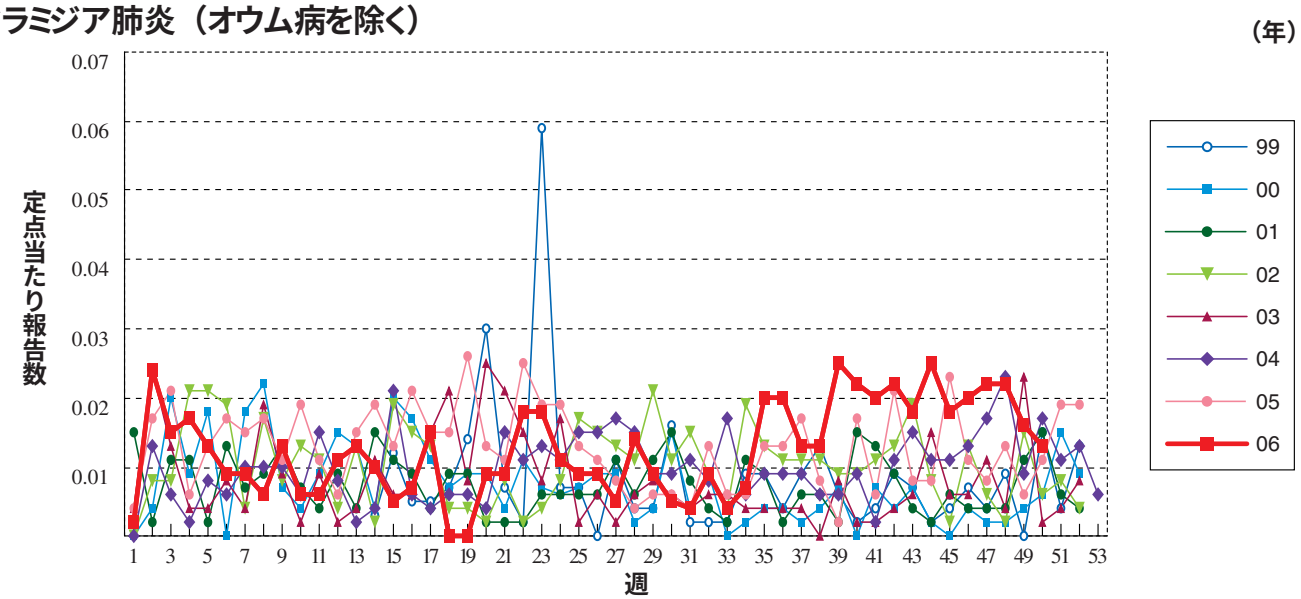
無菌性髄膜炎



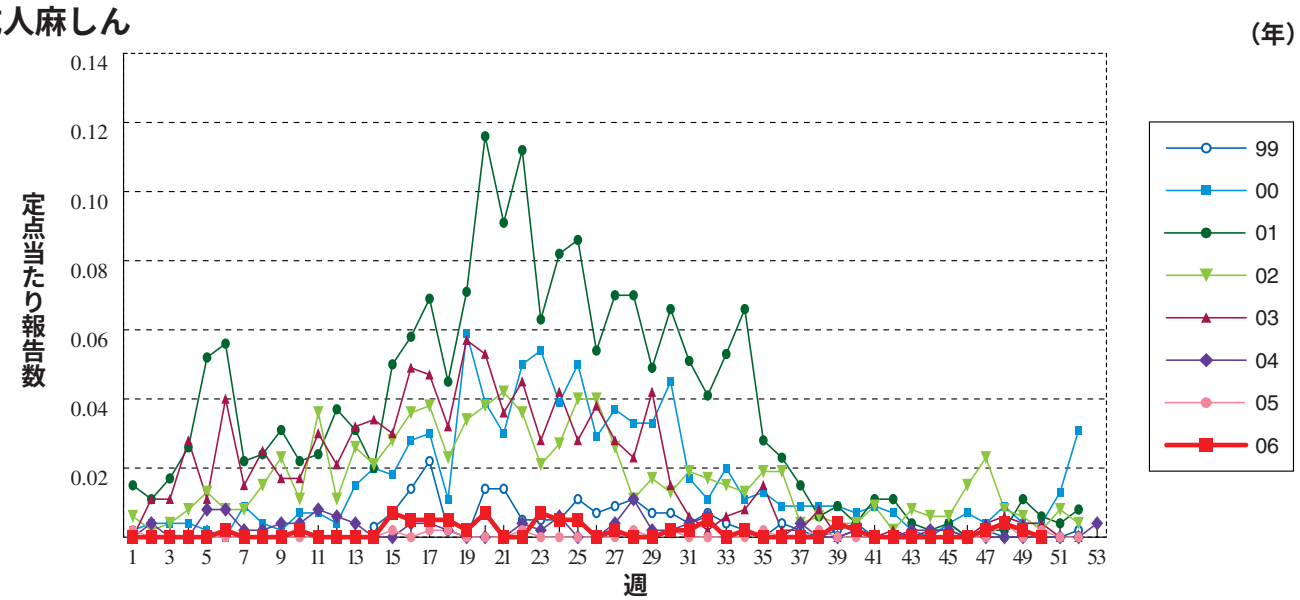
マイコプラズマ肺炎



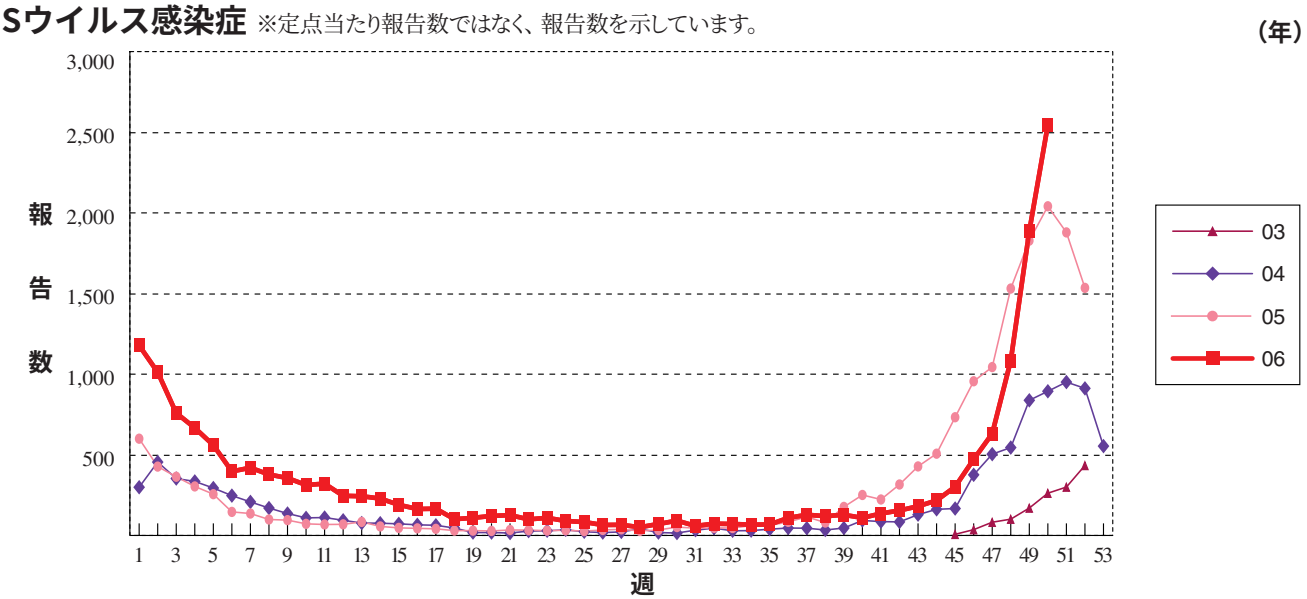
クラミジア肺炎（オウム病を除く）



成人麻しん



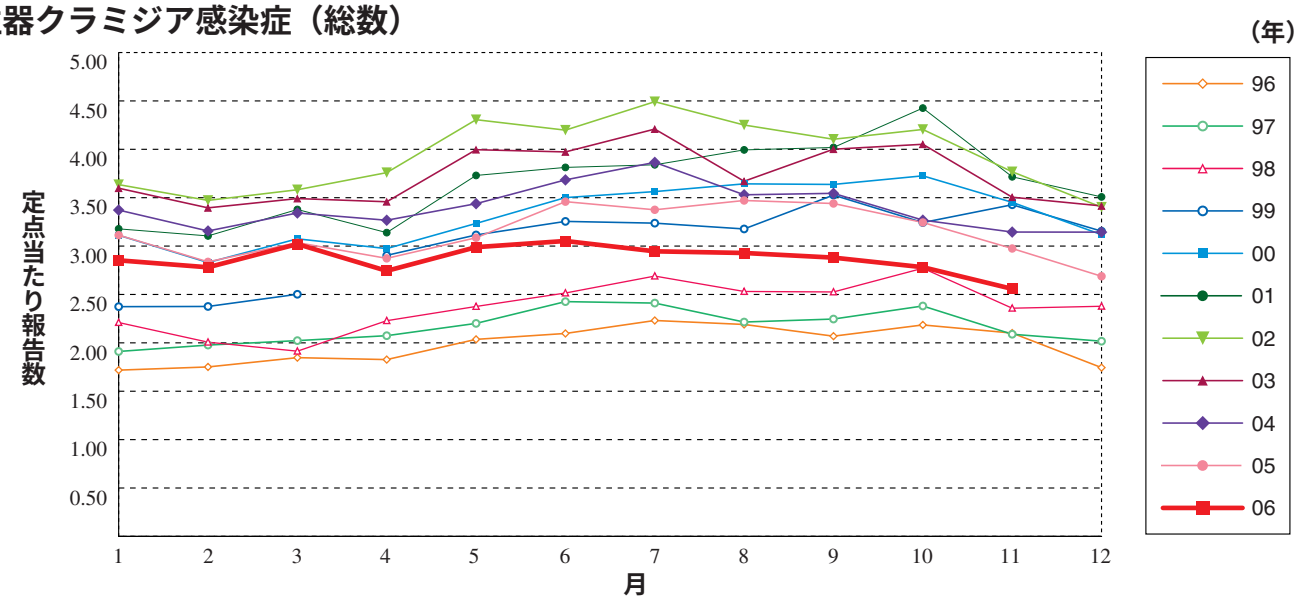
RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



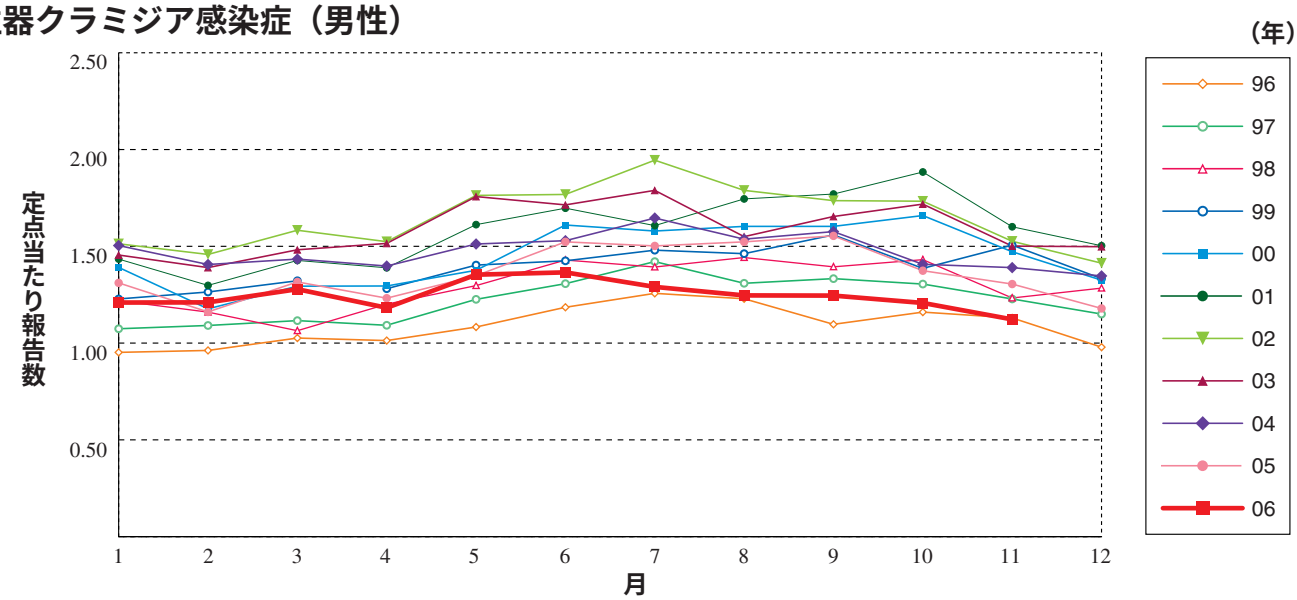
グラフ総覧（11月）

注）1999年4月以降は定点設定が変更されております。

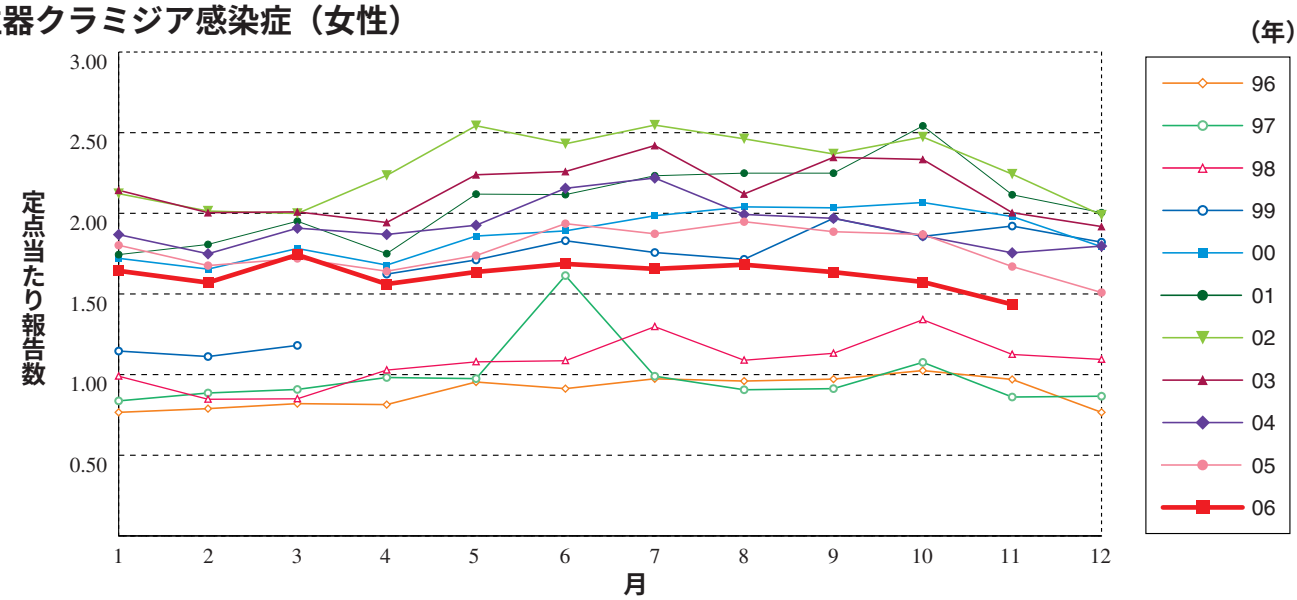
性器クラミジア感染症（総数）



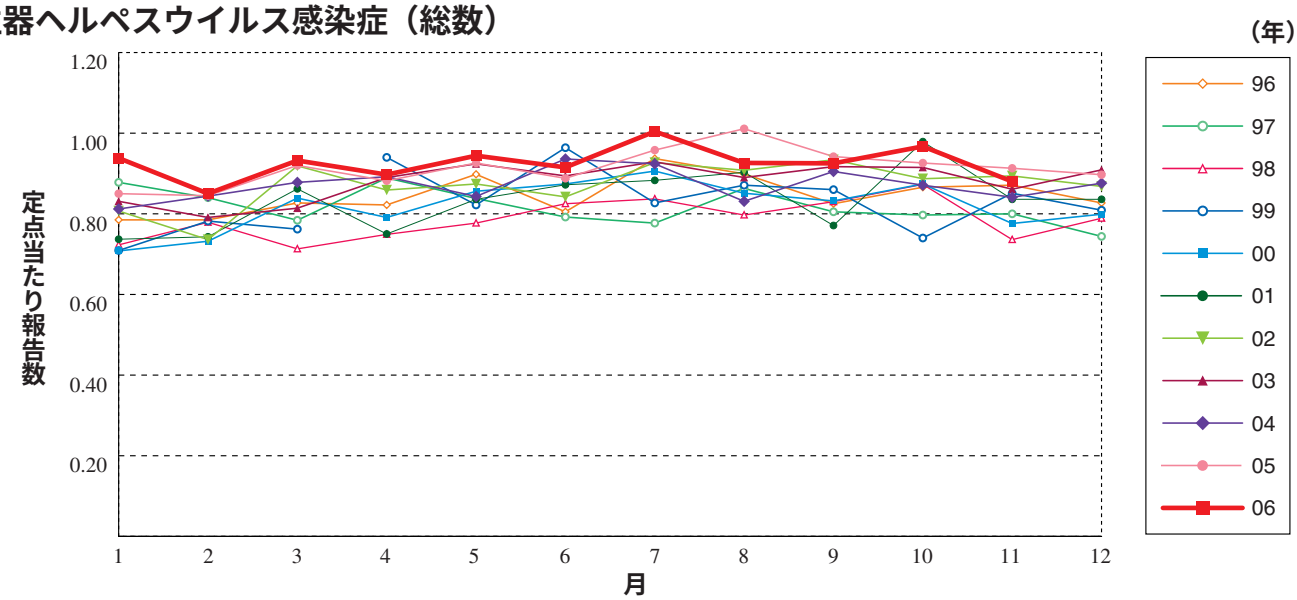
性器クラミジア感染症（男性）



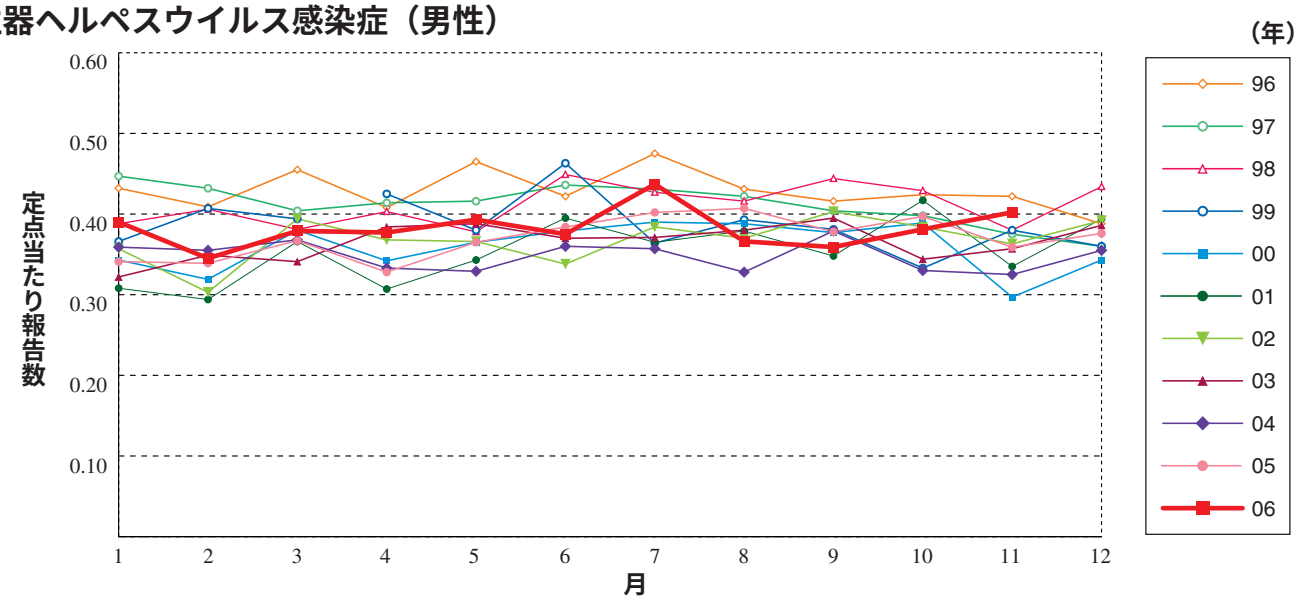
性器クラミジア感染症（女性）



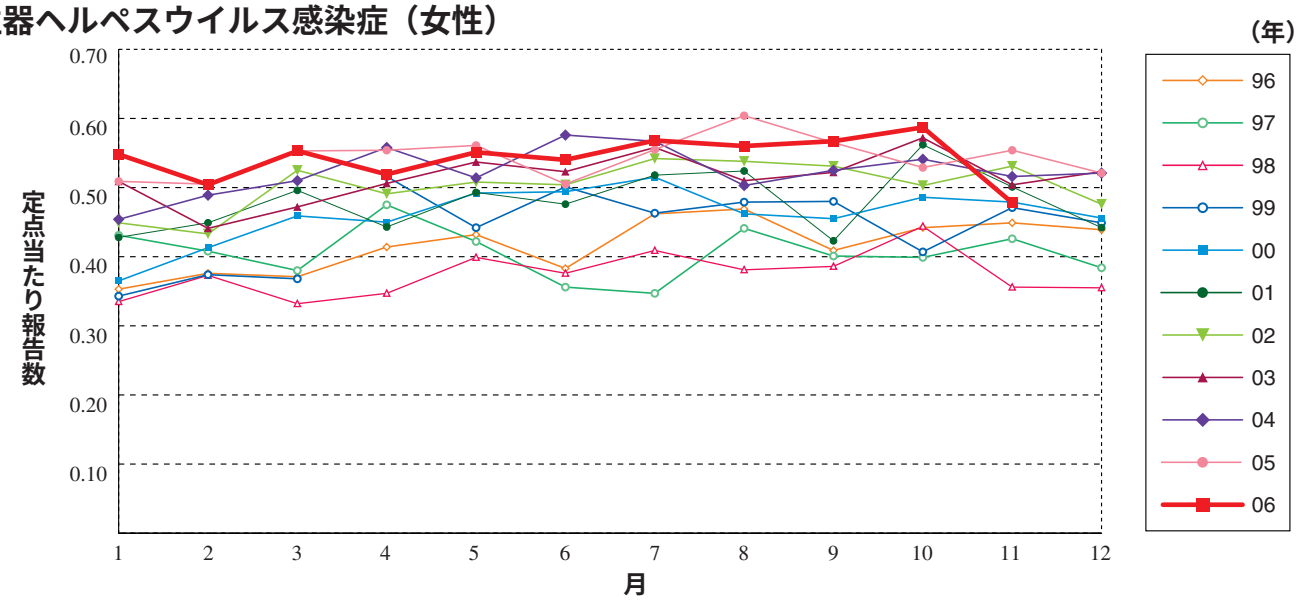
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



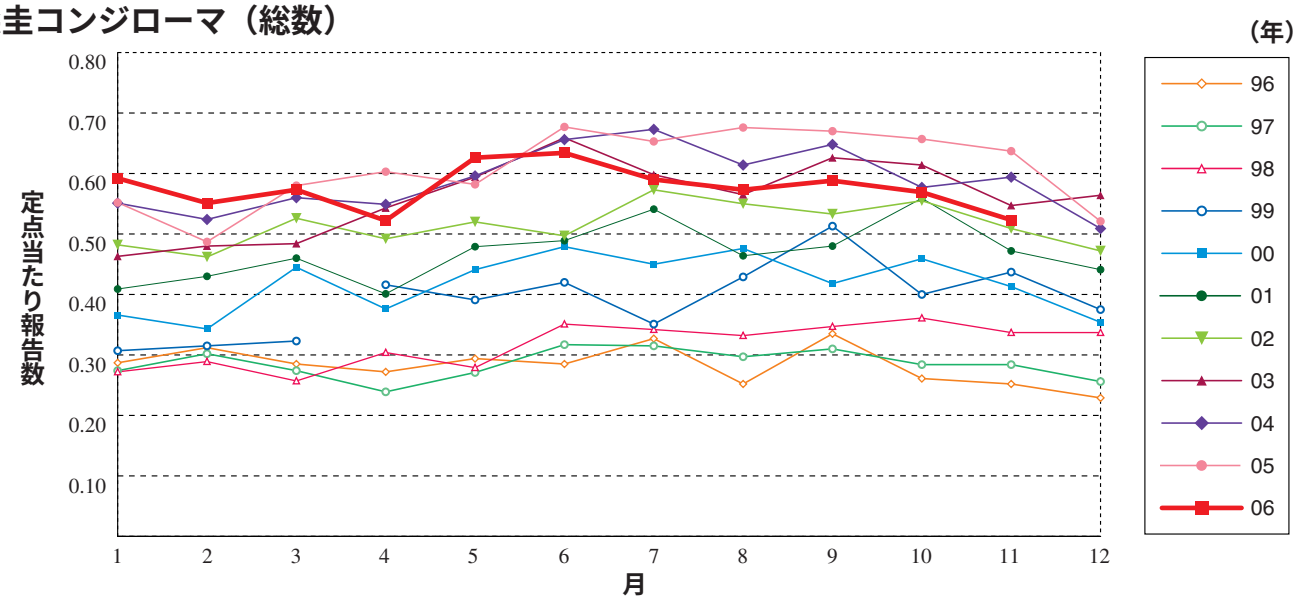
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



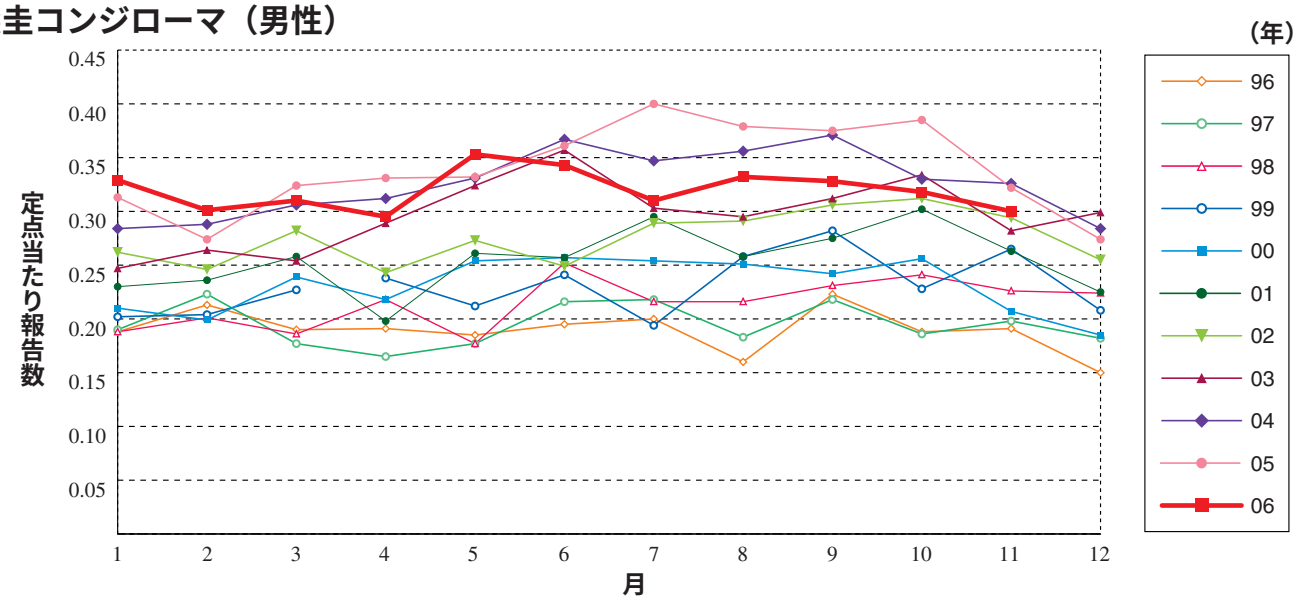
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



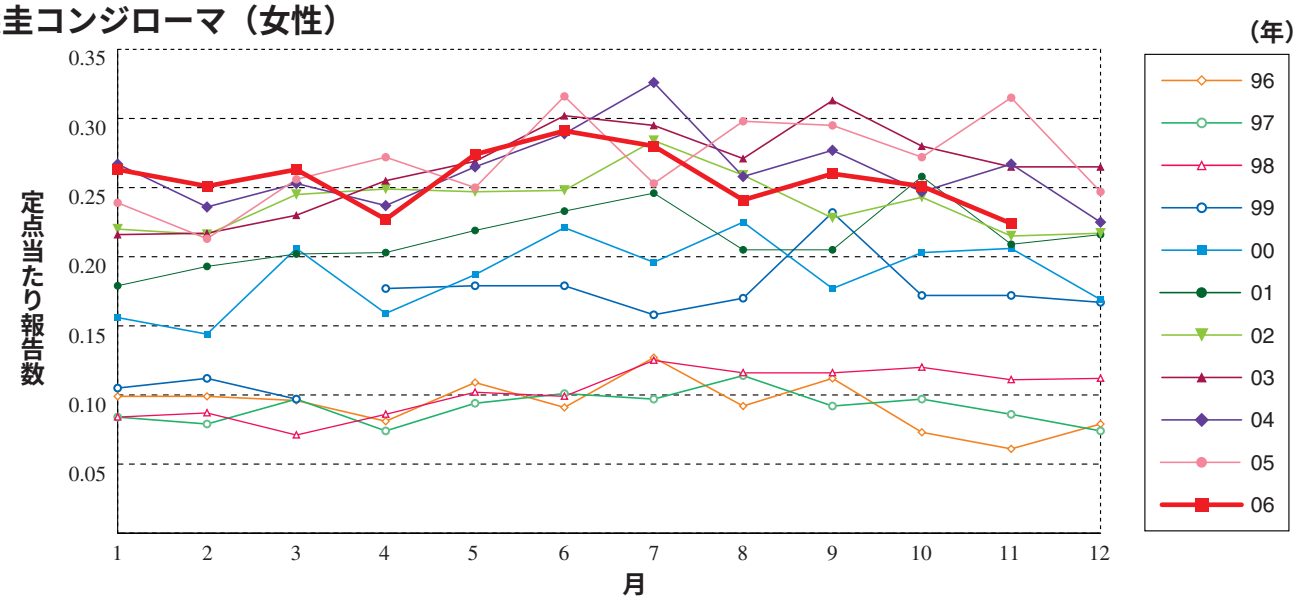
尖圭コンジローマ（総数）



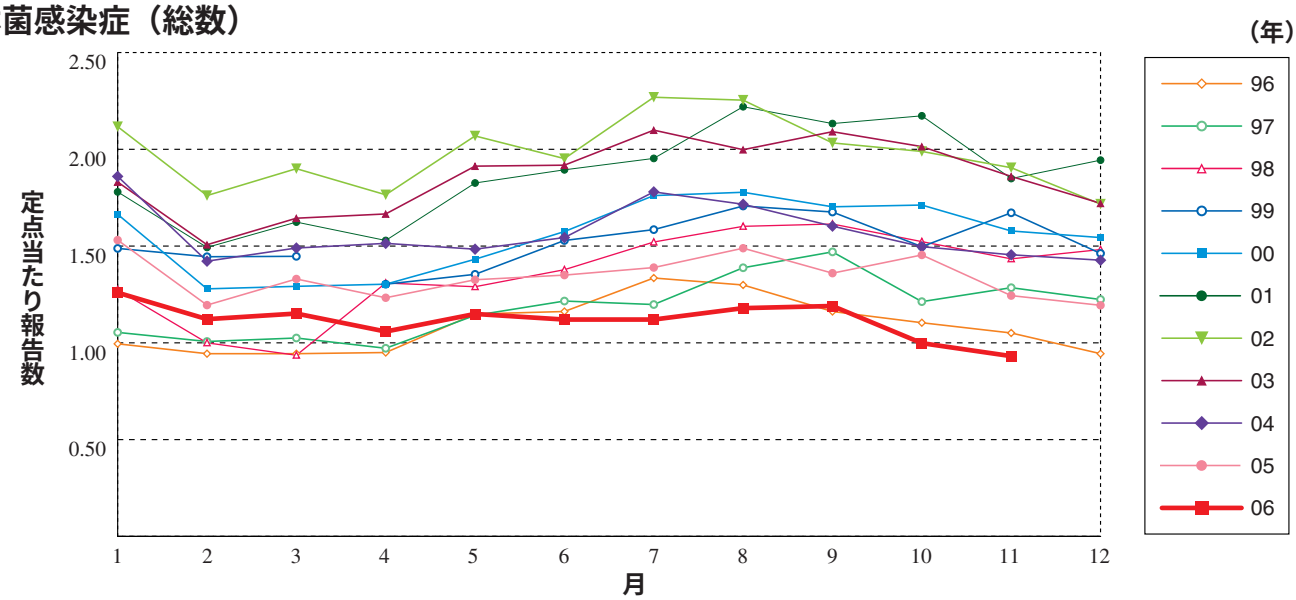
尖圭コンジローマ（男性）



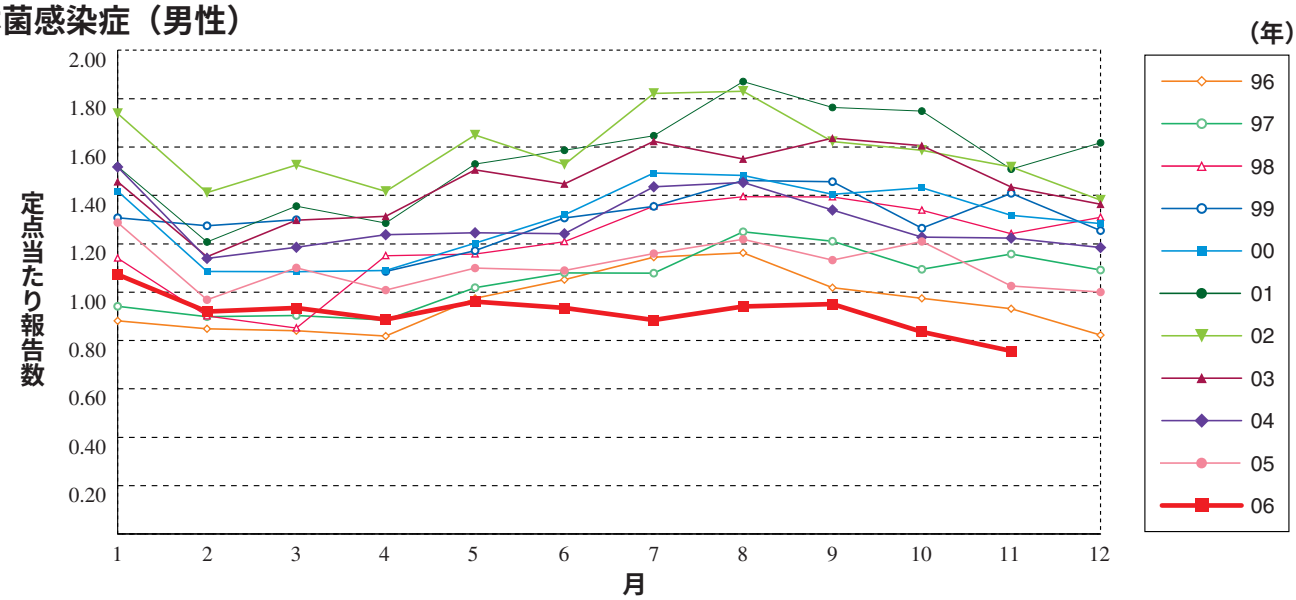
尖圭コンジローマ（女性）



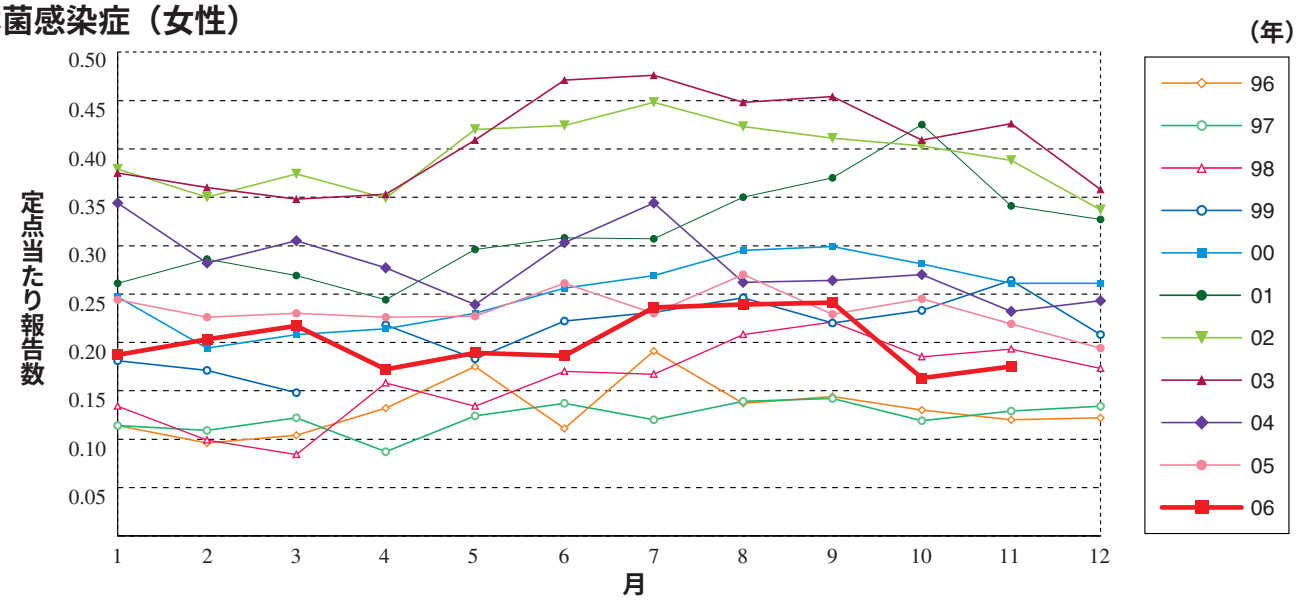
淋菌感染症（総数）



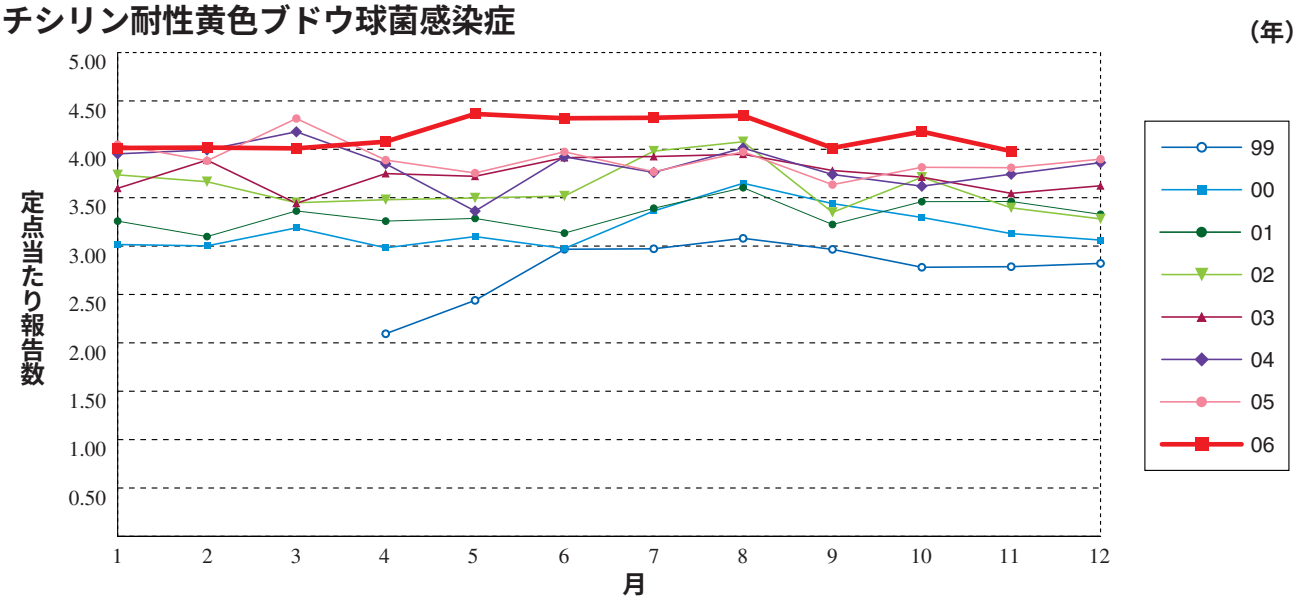
淋菌感染症（男性）



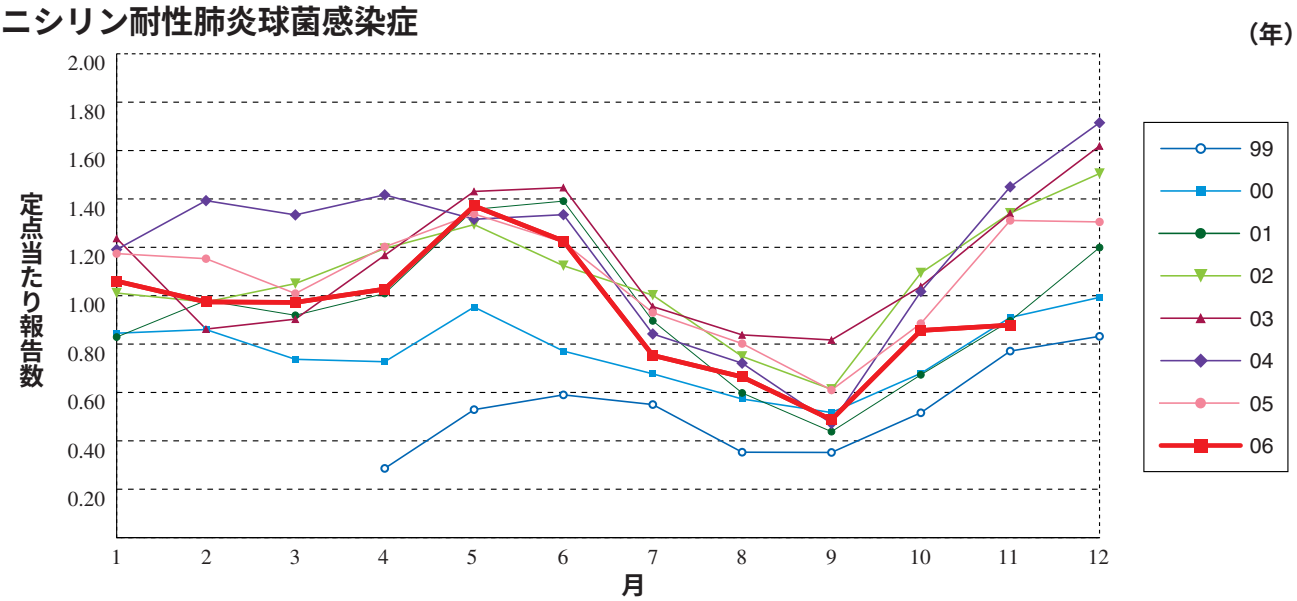
淋菌感染症（女性）



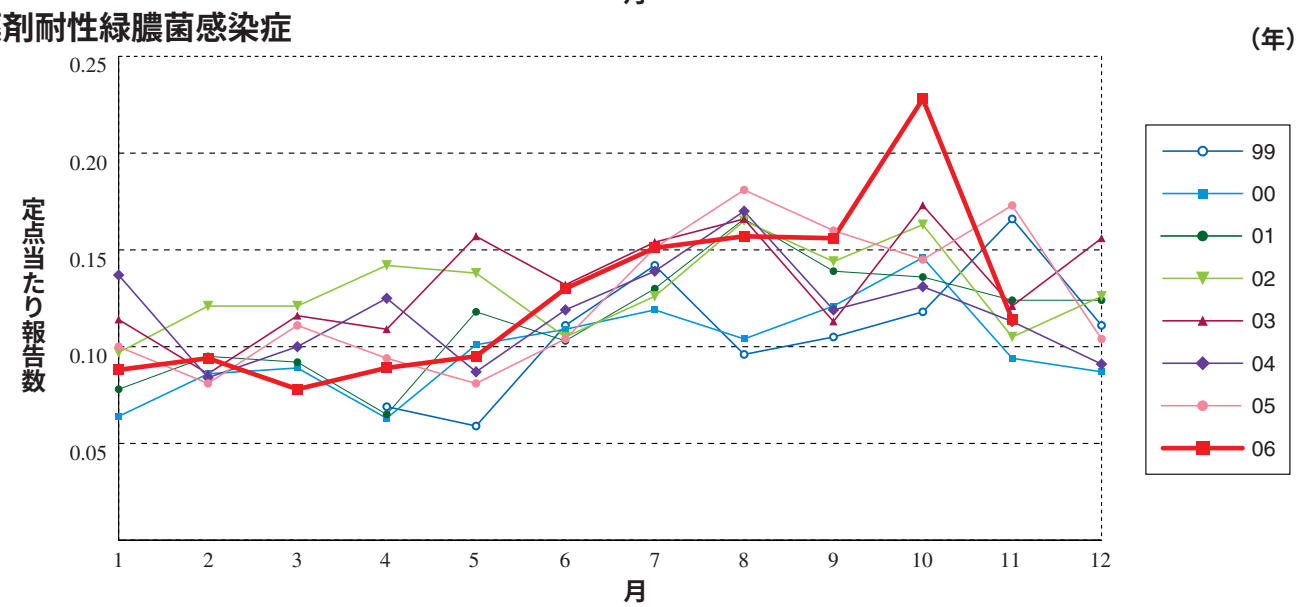
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



11月のデータ

注）12月11日集計分

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）　2006年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	2424	2.56	834	0.88	496	0.52	883	0.93	1823	3.98	402	0.88	52	0.11
北海道	185	4.40	35	0.83	29	0.69	36	0.86	61	2.65	1	0.04	-	-
青森県	25	1.92	6	0.46	9	0.69	9	0.69	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	25	1.92	13	1.00	5	0.38	14	1.08	113	5.65	16	0.80	3	0.15
宮城県	55	2.89	31	1.63	10	0.53	20	1.05	22	1.83	8	0.67	8	0.67
秋田県	41	2.93	7	0.50	5	0.36	16	1.14	25	3.13	-	-	-	-
山形県	19	1.90	1	0.10	4	0.40	10	1.00	36	3.60	6	0.60	1	0.10
福島県	61	2.54	25	1.04	18	0.75	19	0.79	26	3.71	5	0.71	4	0.57
茨城県	151	7.19	21	1.00	4	0.19	13	0.62	42	6.00	-	-	-	-
栃木県	44	2.75	26	1.63	13	0.81	34	2.13	60	8.57	3	0.43	-	-
群馬県	91	3.50	6	0.23	12	0.46	22	0.85	28	3.50	12	1.50	-	-
埼玉県	121	2.24	30	0.56	18	0.33	24	0.44	33	3.67	10	1.11	1	0.11
千葉県	97	2.62	37	1.00	23	0.62	26	0.70	30	3.33	39	4.33	-	-
東京都	184	4.49	89	2.17	42	1.02	78	1.90	147	5.88	44	1.76	7	0.28
神奈川県	83	1.54	49	0.91	19	0.35	29	0.54	23	2.56	17	1.89	1	0.11
新潟県	18	1.29	9	0.64	8	0.57	15	1.07	65	5.00	14	1.08	1	0.08
富山県	5	0.50	7	0.70	4	0.40	4	0.40	22	4.40	30	6.00	1	0.20
石川県	28	2.80	7	0.70	3	0.30	9	0.90	15	3.00	7	1.40	2	0.40
福井県	8	1.60	5	1.00	3	0.60	3	0.60	22	3.67	11	1.83	-	-
山梨県	23	2.56	12	1.33	1	0.11	3	0.33	17	1.70	1	0.10	3	0.30
長野県	38	2.38	14	0.88	8	0.50	9	0.56	21	1.91	7	0.64	-	-
岐阜県	25	1.67	14	0.93	10	0.67	7	0.47	32	6.40	11	2.20	-	-
静岡県	71	2.37	9	0.30	10	0.33	12	0.40	49	4.90	6	0.60	1	0.10
愛知県	123	2.08	33	0.56	40	0.68	77	1.31	83	6.38	3	0.23	-	-
三重県	23	1.53	6	0.40	3	0.20	11	0.73	30	3.33	2	0.22	-	-
滋賀県	14	1.56	2	0.22	-	-	4	0.44	39	5.57	-	-	-	-
京都府	28	1.27	10	0.45	6	0.27	11	0.50	7	1.00	-	-	-	-
大阪府	211	3.20	118	1.79	73	1.11	97	1.47	69	5.31	12	0.92	2	0.15
兵庫県	104	2.31	43	0.96	26	0.58	37	0.82	22	2.00	3	0.27	-	-
奈良県	23	2.56	2	0.22	2	0.22	9	1.00	29	4.83	4	0.67	2	0.33
和歌山県	11	1.38	5	0.63	6	0.75	4	0.50	29	2.64	7	0.64	-	-
鳥取県	13	2.60	3	0.60	2	0.40	1	0.20	19	3.80	2	0.40	-	-
島根県	10	1.67	3	0.50	2	0.33	5	0.83	34	4.25	6	0.75	-	-
岡山県	68	2.96	12	0.52	7	0.30	26	1.13	14	2.80	1	0.20	1	0.20
広島県	40	1.74	16	0.70	16	0.70	27	1.17	110	5.24	28	1.33	6	0.29
山口県	25	2.50	12	1.20	3	0.30	12	1.20	57	6.33	10	1.11	3	0.33
徳島県	12	1.71	6	0.86	4	0.57	7	1.00	18	3.00	1	0.17	-	-
香川県	22	1.47	5	0.33	11	0.73	13	0.87	26	5.20	5	1.00	-	-
愛媛県	14	1.27	7	0.64	4	0.36	4	0.36	12	2.00	-	-	-	-
高知県	4	0.67	-	-	2	0.33	1	0.17	44	6.29	19	2.71	-	-
福岡県	86	2.32	29	0.78	9	0.24	33	0.89	50	3.33	9	0.60	1	0.07
佐賀県	15	2.14	5	0.71	-	-	16	2.29	20	3.33	6	1.00	-	-
長崎県	17	1.70	9	0.90	1	0.10	10	1.00	27	2.45	9	0.82	-	-
熊本県	59	4.54	15	1.15	4	0.31	22	1.69	58	3.87	-	-	2	0.13
大分県	16	1.60	14	1.40	3	0.30	8	0.80	50	4.55	20	1.82	2	0.18
宮崎県	21	1.91	9	0.82	4	0.36	13	1.18	25	3.57	3	0.43	-	-
鹿児島県	44	2.75	14	0.88	5	0.31	18	1.13	29	2.42	-	-	-	-
沖縄県	23	1.92	3	0.25	5	0.42	5	0.42	27	3.86	4	0.57	-	-

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（男）　2006年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	1064	1.12	381	0.40	284	0.30	717	0.76	1148	2.51	238	0.52	31	0.07
北海道	44	1.05	8	0.19	6	0.14	26	0.62	37	1.61	1	0.04	-	-
青森県	12	0.92	3	0.23	8	0.62	7	0.54	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	7	0.54	3	0.23	4	0.31	10	0.77	62	3.10	7	0.35	3	0.15
宮城県	29	1.53	13	0.68	2	0.11	16	0.84	19	1.58	3	0.25	3	0.25
秋田県	26	1.86	5	0.36	4	0.29	11	0.79	18	2.25	-	-	-	-
山形県	10	1.00	-	-	-	-	8	0.80	27	2.70	3	0.30	1	0.10
福島県	22	0.92	13	0.54	6	0.25	18	0.75	22	3.14	3	0.43	3	0.43
茨城県	77	3.67	3	0.14	1	0.05	7	0.33	30	4.29	-	-	-	-
栃木県	26	1.63	18	1.13	12	0.75	33	2.06	39	5.57	2	0.29	-	-
群馬県	37	1.42	-	-	5	0.19	16	0.62	18	2.25	6	0.75	-	-
埼玉県	40	0.74	9	0.17	10	0.19	21	0.39	18	2.00	4	0.44	-	-
千葉県	41	1.11	17	0.46	15	0.41	23	0.62	24	2.67	24	2.67	-	-
東京都	97	2.37	55	1.34	33	0.80	71	1.73	87	3.48	24	0.96	4	0.16
神奈川県	43	0.80	26	0.48	10	0.19	28	0.52	12	1.33	11	1.22	1	0.11
新潟県	12	0.86	7	0.50	6	0.43	14	1.00	43	3.31	10	0.77	-	-
富山県	2	0.20	4	0.40	-	-	2	0.20	14	2.80	15	3.00	1	0.20
石川県	17	1.70	4	0.40	3	0.30	7	0.70	10	2.00	3	0.60	1	0.20
福井県	6	1.20	4	0.80	3	0.60	3	0.60	16	2.67	6	1.00	-	-
山梨県	1	0.11	1	0.11	-	-	3	0.33	8	0.80	1	0.10	1	0.10
長野県	17	1.06	6	0.38	4	0.25	7	0.44	16	1.45	5	0.45	-	-
岐阜県	7	0.47	8	0.53	6	0.40	5	0.33	16	3.20	5	1.00	-	-
静岡県	29	0.97	4	0.13	6	0.20	10	0.33	25	2.50	3	0.30	-	-
愛知県	88	1.49	25	0.42	33	0.56	70	1.19	53	4.08	2	0.15	-	-
三重県	5	0.33	5	0.33	2	0.13	9	0.60	20	2.22	2	0.22	-	-
滋賀県	5	0.56	1	0.11	-	-	4	0.44	18	2.57	-	-	-	-
京都府	3	0.14	1	0.05	3	0.14	3	0.14	4	0.57	-	-	-	-
大阪府	83	1.26	60	0.91	34	0.52	65	0.98	44	3.38	9	0.69	2	0.15
兵庫県	43	0.96	19	0.42	23	0.51	33	0.73	16	1.45	1	0.09	-	-
奈良県	16	1.78	-	-	1	0.11	7	0.78	21	3.50	4	0.67	2	0.33
和歌山県	6	0.75	-	-	6	0.75	3	0.38	19	1.73	5	0.45	-	-
鳥取県	6	1.20	3	0.60	-	-	1	0.20	11	2.20	2	0.40	-	-
島根県	7	1.17	2	0.33	2	0.33	5	0.83	24	3.00	4	0.50	-	-
岡山県	29	1.26	1	0.04	2	0.09	21	0.91	9	1.80	1	0.20	1	0.20
広島県	16	0.70	5	0.22	8	0.35	22	0.96	68	3.24	19	0.90	5	0.24
山口県	11	1.10	3	0.30	3	0.30	7	0.70	33	3.67	4	0.44	-	-
徳島県	9	1.29	5	0.71	3	0.43	7	1.00	10	1.67	-	-	-	-
香川県	7	0.47	5	0.33	9	0.60	11	0.73	14	2.80	4	0.80	-	-
愛媛県	3	0.27	3	0.27	1	0.09	4	0.36	6	1.00	-	-	-	-
高知県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	27	3.86	14	2.00	-	-
福岡県	43	1.16	12	0.32	5	0.14	29	0.78	29	1.93	3	0.20	1	0.07
佐賀県	11	1.57	3	0.43	-	-	13	1.86	18	3.00	3	0.50	-	-
長崎県	7	0.70	3	0.30	1	0.10	9	0.90	16	1.45	6	0.55	-	-
熊本県	13	1.00	1	0.08	-	-	13	1.00	40	2.67	-	-	1	0.07
大分県	7	0.70	5	0.50	2	0.20	8	0.80	32	2.91	14	1.27	1	0.09
宮崎県	10	0.91	2	0.18	-	-	12	1.09	18	2.57	3	0.43	-	-
鹿児島県	26	1.63	6	0.38	2	0.13	11	0.69	21	1.75	-	-	-	-
沖縄県	7	0.58	-	-	-	-	4	0.33	13	1.86	2	0.29	-	-

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（女）　2006年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	1360	1.43	453	0.48	212	0.22	166	0.18	675	1.47	164	0.36	21	0.05
北海道	141	3.36	27	0.64	23	0.55	10	0.24	24	1.04	-	-	-	-
青森県	13	1.00	3	0.23	1	0.08	2	0.15	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	18	1.38	10	0.77	1	0.08	4	0.31	51	2.55	9	0.45	-	-
宮城県	26	1.37	18	0.95	8	0.42	4	0.21	3	0.25	5	0.42	5	0.42
秋田県	15	1.07	2	0.14	1	0.07	5	0.36	7	0.88	-	-	-	-
山形県	9	0.90	1	0.10	4	0.40	2	0.20	9	0.90	3	0.30	-	-
福島県	39	1.63	12	0.50	12	0.50	1	0.04	4	0.57	2	0.29	1	0.14
茨城県	74	3.52	18	0.86	3	0.14	6	0.29	12	1.71	-	-	-	-
栃木県	18	1.13	8	0.50	1	0.06	1	0.06	21	3.00	1	0.14	-	-
群馬県	54	2.08	6	0.23	7	0.27	6	0.23	10	1.25	6	0.75	-	-
埼玉県	81	1.50	21	0.39	8	0.15	3	0.06	15	1.67	6	0.67	1	0.11
千葉県	56	1.51	20	0.54	8	0.22	3	0.08	6	0.67	15	1.67	-	-
東京都	87	2.12	34	0.83	9	0.22	7	0.17	60	2.40	20	0.80	3	0.12
神奈川県	40	0.74	23	0.43	9	0.17	1	0.02	11	1.22	6	0.67	-	-
新潟県	6	0.43	2	0.14	2	0.14	1	0.07	22	1.69	4	0.31	1	0.08
富山県	3	0.30	3	0.30	4	0.40	2	0.20	8	1.60	15	3.00	-	-
石川県	11	1.10	3	0.30	-	-	2	0.20	5	1.00	4	0.80	1	0.20
福井県	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-	6	1.00	5	0.83	-	-
山梨県	22	2.44	11	1.22	1	0.11	-	-	9	0.90	-	-	2	0.20
長野県	21	1.31	8	0.50	4	0.25	2	0.13	5	0.45	2	0.18	-	-
岐阜県	18	1.20	6	0.40	4	0.27	2	0.13	16	3.20	6	1.20	-	-
静岡県	42	1.40	5	0.17	4	0.13	2	0.07	24	2.40	3	0.30	1	0.10
愛知県	35	0.59	8	0.14	7	0.12	7	0.12	30	2.31	1	0.08	-	-
三重県	18	1.20	1	0.07	1	0.07	2	0.13	10	1.11	-	-	-	-
滋賀県	9	1.00	1	0.11	-	-	-	-	21	3.00	-	-	-	-
京都府	25	1.14	9	0.41	3	0.14	8	0.36	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	128	1.94	58	0.88	39	0.59	32	0.48	25	1.92	3	0.23	-	-
兵庫県	61	1.36	24	0.53	3	0.07	4	0.09	6	0.55	2	0.18	-	-
奈良県	7	0.78	2	0.22	1	0.11	2	0.22	8	1.33	-	-	-	-
和歌山県	5	0.63	5	0.63	-	-	1	0.13	10	0.91	2	0.18	-	-
鳥取県	7	1.40	-	-	2	0.40	-	-	8	1.60	-	-	-	-
島根県	3	0.50	1	0.17	-	-	-	-	10	1.25	2	0.25	-	-
岡山県	39	1.70	11	0.48	5	0.22	5	0.22	5	1.00	-	-	-	-
広島県	24	1.04	11	0.48	8	0.35	5	0.22	42	2.00	9	0.43	1	0.05
山口県	14	1.40	9	0.90	-	-	5	0.50	24	2.67	6	0.67	3	0.33
徳島県	3	0.43	1	0.14	1	0.14	-	-	8	1.33	1	0.17	-	-
香川県	15	1.00	-	-	2	0.13	2	0.13	12	2.40	1	0.20	-	-
愛媛県	11	1.00	4	0.36	3	0.27	-	-	6	1.00	-	-	-	-
高知県	3	0.50	-	-	2	0.33	1	0.17	17	2.43	5	0.71	-	-
福岡県	43	1.16	17	0.46	4	0.11	4	0.11	21	1.40	6	0.40	-	-
佐賀県	4	0.57	2	0.29	-	-	3	0.43	2	0.33	3	0.50	-	-
長崎県	10	1.00	6	0.60	-	-	1	0.10	11	1.00	3	0.27	-	-
熊本県	46	3.54	14	1.08	4	0.31	9	0.69	18	1.20	-	-	1	0.07
大分県	9	0.90	9	0.90	1	0.10	-	-	18	1.64	6	0.55	1	0.09
宮崎県	11	1.00	7	0.64	4	0.36	1	0.09	7	1.00	-	-	-	-
鹿児島県	18	1.13	8	0.50	3	0.19	7	0.44	8	0.67	-	-	-	-
沖縄県	16	1.33	3	0.25	5	0.42	1	0.08	14	2.00	2	0.29	-	-

注）12月21日集計分

新登録患者数・都道府県別　　2006年11月

	結　核
	報告数
総　数	2087
北海道	73
青森県	16
岩手県	13
宮城県	17
秋田県	20
山形県	18
福島県	11
茨城県	30
栃木県	34
群馬県	24
埼玉県	96
千葉県	120
東京都	275
神奈川県	129
新潟県	35
富山県	15
石川県	12
福井県	6
山梨県	11
長野県	24
岐阜県	35
静岡県	63
愛知県	147
三重県	15
滋賀県	14
京都府	41
大阪府	246
兵庫県	96
奈良県	33
和歌山県	21
鳥取県	9
島根県	7
岡山県	36
広島県	35
山口県	27
徳島県	9
香川県	12
愛媛県	19
高知県	13
福岡県	89
佐賀県	13
長崎県	34
熊本県	25
大分県	13
宮崎県	13
鹿児島県	25
沖縄県	18

５０週のデータ

注1）表中の報告数は12月21日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。
注2）また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　　2006年50週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	8	469	-	-	-	70	-	24	49	3824	3	68	-	-	1	310	-	20
北海道	-	2	-	-	-	3	-	-	-	81	-	19	-	-	-	13	-	19
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	50	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	78	-	-	-	-	-	3	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	6	-	-	-	1	-	-	-	34	-	1	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	17	-	3	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	126	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	12	-	-	-	5	-	1	-	89	1	1	-	-	-	11	-	-
千葉県	-	67	-	-	-	5	-	2	-	128	-	1	-	-	-	3	-	-
東京都	1	62	-	-	-	17	-	11	1	261	-	4	-	-	-	27	-	-
神奈川県	3	27	-	-	-	10	-	1	-	206	-	8	-	-	-	12	-	-
新潟県	-	11	-	-	-	1	-	-	-	34	1	3	-	-	-	17	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	117	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	70	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	1	-	2	-	37	-	3	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	2	-	-	-	109	-	-	-	-	-	9	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	1	-	-	4	111	-	-	-	-	-	8	-	-
愛知県	1	30	-	-	-	6	-	3	-	200	-	5	-	-	-	19	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	32	1	1	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	54	-	2	-	-	-	21	-	-
京都府	1	5	-	-	-	1	-	-	-	77	-	3	-	-	-	9	-	-
大阪府	1	109	-	-	-	6	-	2	-	246	-	-	-	-	-	47	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	1	-	1	1	163	-	1	-	-	1	20	-	-
奈良県	-	3	-	-	-	1	-	1	-	29	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	128	-	1	-	-	-	15	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	2	117	-	1	-	-	-	10	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	41	-	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	6	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-
福岡県	1	30	-	-	-	2	-	-	3	214	-	1	-	-	-	8	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	62	-	-	-	-	-	8	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	1	-	-	37	132	-	5	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	132	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	69	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	22	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	14	354	1	54	-	-	-	44	-	7	-	-	-	-	-	5
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	29	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	13	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	34	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	5	-	2	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	3	24	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野兎病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	2	2	60	-	-	-	12	-	-	4	488	1	24	12	710
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	20	-	-	1	25
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	1	-	14
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	7
茨城県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	10
栃木県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	-	25
千葉県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	1	37
東京都	-	-	-	-	-	13	-	-	-	2	-	-	-	54	-	4	1	173
神奈川県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	25	-	-	2	74
新潟県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	1	31	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	22	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	7
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	1	47
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	9
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	23
大阪府	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	1	82
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	19	-	1	-	41
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	9
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	1	9
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	5
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	7
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	8	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	2

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	1	268	-	157	-	14	1	166	1	104	13	1257	-	82	-	14	-	-
北海道	-	4	-	8	-	3	-	7	-	7	1	27	-	1	-	-	-	-
青森県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
福島県	-	3	-	2	-	-	-	2	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	7	-	-	-	1	-	2	1	32	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	5	-	-	-	2	-	-	1	34	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	4	-	4	-	12	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	8	-	-	-	5	-	3	-	33	-	2	-	1	-	-
千葉県	-	4	-	18	-	1	-	7	-	9	-	48	-	2	-	-	-	-
東京都	-	34	-	6	-	5	-	20	-	13	1	411	-	27	-	1	-	-
神奈川県	-	15	-	4	-	1	-	10	1	7	1	71	-	10	-	3	-	-
新潟県	-	2	-	5	-	-	-	6	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	4	-	1	-	2	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	6	-	2	-	-	-	4	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
長野県	-	8	-	1	-	-	-	7	-	1	1	26	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	4	-	-	-	6	-	5	2	34	-	2	-	-	-	-
愛知県	-	9	-	10	-	-	-	8	-	9	3	99	-	2	-	1	-	-
三重県	1	14	-	3	-	-	-	3	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	8	-	1	-	-	-	-
京都府	-	14	-	-	-	-	-	7	-	2	-	30	-	2	-	1	-	-
大阪府	-	29	-	18	-	2	1	13	-	6	1	144	-	12	-	1	-	-
兵庫県	-	24	-	4	-	-	-	5	-	7	-	46	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	13	-	3	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	7	-	3	-	-	-	4	-	1	1	8	-	2	-	-	-	-
広島県	-	10	-	11	-	-	-	4	-	1	-	11	-	2	-	-	-	-
山口県	-	2	-	2	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	1	-	1	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
高知県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	13	-	9	-	-	-	7	-	-	-	34	-	4	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	10	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	11	-	1	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ（H5N1）	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	7	598	1	113	-	-	-	74	-	-
北海道	1	9	-	6	-	-	-	3	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	1	18	-	1	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	8	-	6	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	17	-	7	-	-	-	3	-	-
東京都	-	121	-	7	-	-	-	17	-	-
神奈川県	-	21	-	5	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	6	-	3	-	-	-	3	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	5	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	13	-	2	-	-	-	6	-	-
愛知県	4	46	-	5	-	-	-	-	-	-
三重県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	1	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	37	-	4	-	-	-	4	-	-
兵庫県	-	22	-	3	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	5	-	-	-	2	-	-
広島県	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	28	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	32	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	39	1	6	-	-	-	1	-	-
大分県	-	7	-	3	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	19	-	8	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水　痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百　日　咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	954	0.21	1691	0.56	7394	2.45	68950	22.81	7351	2.43	1404	0.46	1212	0.40	1808	0.60	25	0.01
北海道	7	0.03	264	1.85	735	5.14	1860	13.01	464	3.24	76	0.53	90	0.63	67	0.47	-	-
青森県	-	-	41	0.98	92	2.19	781	18.60	101	2.40	14	0.33	18	0.43	16	0.38	-	-
岩手県	2	0.03	5	0.13	45	1.15	984	25.23	64	1.64	24	0.62	33	0.85	25	0.64	-	-
宮城県	4	0.04	30	0.49	116	1.90	2058	33.74	275	4.51	17	0.28	53	0.87	39	0.64	-	-
秋田県	-	-	42	1.20	98	2.80	487	13.91	88	2.51	26	0.74	27	0.77	12	0.34	-	-
山形県	-	-	61	2.03	84	2.80	708	23.60	105	3.50	97	3.23	15	0.50	20	0.67	-	-
福島県	-	-	38	0.79	136	2.83	1517	31.60	105	2.19	40	0.83	11	0.23	32	0.67	1	0.02
茨城県	3	0.05	34	0.45	236	3.15	1655	22.07	139	1.85	42	0.56	28	0.37	29	0.39	-	-
栃木県	10	0.14	3	0.07	58	1.26	836	18.17	76	1.65	5	0.11	31	0.67	25	0.54	7	0.15
群馬県	4	0.04	22	0.35	156	2.52	1247	20.11	215	3.47	23	0.37	15	0.24	34	0.55	-	-
埼玉県	9	0.03	81	0.50	410	2.53	5396	33.31	437	2.70	69	0.43	112	0.69	119	0.73	-	-
千葉県	24	0.12	53	0.42	385	3.03	3849	30.31	308	2.43	59	0.46	43	0.34	72	0.57	3	0.02
東京都	-	-	54	0.38	280	1.97	3769	26.54	288	2.03	47	0.33	45	0.32	59	0.42	1	0.01
神奈川県	11	0.04	54	0.27	460	2.31	6233	31.32	385	1.93	80	0.40	71	0.36	142	0.71	-	-
新潟県	-	-	68	1.11	282	4.62	1678	27.51	134	2.20	21	0.34	12	0.20	41	0.67	-	-
富山県	-	-	52	1.79	116	4.00	783	27.00	62	2.14	13	0.45	33	1.14	14	0.48	-	-
石川県	-	-	36	1.24	87	3.00	683	23.55	100	3.45	6	0.21	21	0.72	26	0.90	-	-
福井県	13	0.41	23	1.05	40	1.82	953	43.32	91	4.14	2	0.09	9	0.41	10	0.45	-	-
山梨県	-	-	4	0.17	45	1.88	357	14.88	40	1.67	8	0.33	5	0.21	7	0.29	-	-
長野県	13	0.15	34	0.62	89	1.62	1743	31.69	106	1.93	27	0.49	31	0.56	34	0.62	-	-
岐阜県	110	1.45	21	0.40	38	0.73	661	12.71	91	1.75	6	0.12	27	0.52	25	0.48	1	0.02
静岡県	10	0.08	27	0.31	262	3.05	2069	24.06	192	2.23	11	0.13	44	0.51	51	0.59	1	0.01
愛知県	80	0.41	102	0.56	385	2.12	3012	16.55	334	1.84	68	0.37	103	0.57	100	0.55	2	0.01
三重県	6	0.08	33	0.73	122	2.71	1058	23.51	136	3.02	36	0.80	8	0.18	43	0.96	-	-
滋賀県	46	0.87	14	0.44	30	0.94	625	19.53	117	3.66	6	0.19	15	0.47	13	0.41	-	-
京都府	10	0.08	3	0.04	107	1.45	1294	17.49	121	1.64	14	0.19	39	0.53	26	0.35	3	0.04
大阪府	19	0.09	69	0.36	477	2.50	3935	20.60	369	1.93	100	0.52	45	0.24	128	0.67	1	0.01
兵庫県	6	0.03	28	0.22	256	1.98	2854	22.12	330	2.56	29	0.22	48	0.37	59	0.46	1	0.01
奈良県	-	-	23	0.66	31	0.89	627	17.91	56	1.60	7	0.20	19	0.54	8	0.23	-	-
和歌山県	4	0.08	13	0.42	45	1.45	687	22.16	113	3.65	18	0.58	7	0.23	19	0.61	-	-
鳥取県	3	0.10	16	0.84	91	4.79	511	26.89	52	2.74	10	0.53	1	0.05	15	0.79	-	-
島根県	2	0.06	12	0.52	43	1.87	346	15.04	114	4.96	33	1.43	4	0.17	15	0.65	-	-
岡山県	2	0.03	26	0.48	56	1.04	778	14.41	119	2.20	3	0.06	13	0.24	18	0.33	-	-
広島県	96	0.83	50	0.69	166	2.31	1277	17.74	130	1.81	9	0.13	17	0.24	49	0.68	2	0.03
山口県	-	-	16	0.33	207	4.22	1360	27.76	91	1.86	2	0.04	24	0.49	31	0.63	-	-
徳島県	-	-	7	0.33	26	1.24	395	18.81	30	1.43	8	0.38	7	0.33	9	0.43	-	-
香川県	-	-	7	0.22	28	0.88	506	15.81	68	2.13	-	-	7	0.22	25	0.78	-	-
愛媛県	-	-	5	0.14	115	3.11	1336	36.11	89	2.41	16	0.43	12	0.32	41	1.11	-	-
高知県	2	0.04	4	0.13	88	2.93	822	27.40	49	1.63	6	0.20	2	0.07	9	0.30	-	-
福岡県	22	0.11	37	0.31	313	2.61	2422	20.18	360	3.00	96	0.80	19	0.16	95	0.79	1	0.01
佐賀県	1	0.03	8	0.35	57	2.48	322	14.00	81	3.52	17	0.74	1	0.04	25	1.09	-	-
長崎県	1	0.01	66	1.50	54	1.23	928	21.09	103	2.34	8	0.18	9	0.20	24	0.55	-	-
熊本県	7	0.09	19	0.40	128	2.67	826	17.21	126	2.63	30	0.63	6	0.13	44	0.92	-	-
大分県	111	1.91	29	0.81	124	3.44	957	26.58	139	3.86	104	2.89	10	0.28	35	0.97	-	-
宮崎県	257	4.28	33	0.89	111	3.00	848	22.92	133	3.59	31	0.84	16	0.43	32	0.86	-	-
鹿児島県	3	0.03	20	0.36	64	1.14	703	12.55	180	3.21	34	0.61	3	0.05	29	0.52	-	-
沖縄県	56	0.97	4	0.12	20	0.59	214	6.29	45	1.32	6	0.18	3	0.09	17	0.50	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん（成人麻しんを除く）		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	4	0.00	103	0.03	7	0.00	2725	0.90	22	0.03	433	0.68	5	0.01	12	0.03	287	0.64
北海道	-	-	2	0.01	-	-	164	1.15	-	-	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	105	2.50	-	-	17	1.55	-	-	-	-	9	1.50
岩手県	-	-	8	0.21	-	-	92	2.36	-	-	12	1.00	-	-	-	-	21	1.05
宮城県	-	-	9	0.15	-	-	108	1.77	4	0.33	1	0.08	1	0.08	-	-	16	1.33
秋田県	-	-	-	-	-	-	25	0.71	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	16	0.53	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.70
福島県	-	-	3	0.06	-	-	38	0.79	-	-	10	0.83	-	-	-	-	7	1.17
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	19	0.25	-	-	17	1.13	-	-	-	-	6	0.86
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	54	1.17	-	-	17	1.42	-	-	-	-	4	0.57
群馬県	-	-	4	0.06	-	-	80	1.29	-	-	20	1.43	1	0.13	1	0.13	14	1.75
埼玉県	1	0.01	9	0.06	2	0.01	86	0.53	1	0.03	35	0.88	-	-	-	-	15	1.67
千葉県	1	0.01	5	0.04	-	-	55	0.43	5	0.16	21	0.68	-	-	-	-	7	0.88
東京都	-	-	5	0.04	2	0.01	56	0.39	-	-	7	0.50	1	0.04	-	-	4	0.17
神奈川県	1	0.01	4	0.02	-	-	99	0.50	-	-	34	0.83	-	-	1	0.14	4	0.57
新潟県	-	-	4	0.07	1	0.02	171	2.80	1	0.10	8	0.80	-	-	-	-	14	1.17
富山県	-	-	1	0.03	-	-	19	0.66	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	8	1.60
石川県	-	-	-	-	-	-	4	0.14	-	-	3	0.43	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	-	-	-	-	3	0.14	-	-	-	-	-	-	2	0.33	1	0.17
山梨県	-	-	3	0.13	-	-	21	0.88	-	-	6	0.67	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	-	-	-	-	92	1.67	-	-	9	0.82	-	-	2	0.18	5	0.45
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	18	0.35	-	-	3	0.30	-	-	1	0.20	5	1.00
静岡県	-	-	5	0.06	-	-	62	0.72	-	-	7	0.35	-	-	-	-	6	0.60
愛知県	1	0.01	4	0.02	1	0.01	126	0.69	-	-	12	0.34	-	-	-	-	8	0.62
三重県	-	-	-	-	-	-	73	1.62	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	16	0.50	-	-	2	0.29	-	-	-	-	5	0.71
京都府	-	-	1	0.01	-	-	31	0.42	-	-	4	0.22	-	-	-	-	2	0.29
大阪府	-	-	10	0.05	-	-	144	0.75	3	0.07	22	0.54	-	-	1	0.08	23	1.92
兵庫県	-	-	-	-	1	0.01	220	1.71	-	-	12	0.34	1	0.10	-	-	2	0.20
奈良県	-	-	-	-	-	-	11	0.31	-	-	6	0.67	-	-	-	-	6	1.00
和歌山県	-	-	-	-	-	-	27	0.87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	14	0.74	-	-	1	0.33	-	-	-	-	6	1.20
島根県	-	-	-	-	-	-	40	1.74	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	-	-	-	-	56	1.04	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	6	1.20
広島県	-	-	2	0.03	-	-	22	0.31	-	-	15	0.79	1	0.05	1	0.05	14	0.67
山口県	-	-	-	-	-	-	19	0.39	-	-	12	1.33	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	3	0.14	-	-	18	0.86	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	25	0.78	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	41	1.11	1	0.13	20	2.50	-	-	-	-	8	1.33
高知県	-	-	-	-	-	-	29	0.97	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-
福岡県	-	-	6	0.05	-	-	112	0.93	1	0.04	23	0.88	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	13	0.57	-	-	1	0.25	-	-	-	-	5	0.83
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	13	0.30	-	-	4	0.50	-	-	-	-	3	0.25
熊本県	-	-	5	0.10	-	-	16	0.33	-	-	7	0.78	-	-	-	-	4	0.27
大分県	-	-	-	-	-	-	82	2.28	1	0.20	4	0.80	-	-	1	0.09	1	0.09
宮崎県	-	-	1	0.03	-	-	64	1.73	1	0.25	7	1.75	-	-	1	0.14	3	0.43
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	99	1.77	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	27	0.79	2	0.20	8	0.80	-	-	-	-	27	3.86

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	クラミジア肺炎（オウム病を除く）		成人麻しん		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総　数	6	0.01	-	-	2545
北海道	-	-	-	-	205
青森県	-	-	-	-	6
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	1	0.08	-	-	49
秋田県	-	-	-	-	23
山形県	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	99
茨城県	-	-	-	-	32
栃木県	-	-	-	-	91
群馬県	-	-	-	-	72
埼玉県	1	0.11	-	-	150
千葉県	-	-	-	-	82
東京都	-	-	-	-	107
神奈川県	-	-	-	-	103
新潟県	2	0.17	-	-	36
富山県	-	-	-	-	10
石川県	-	-	-	-	13
福井県	-	-	-	-	2
山梨県	1	0.10	-	-	-
長野県	-	-	-	-	7
岐阜県	-	-	-	-	26
静岡県	-	-	-	-	42
愛知県	-	-	-	-	144
三重県	-	-	-	-	22
滋賀県	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	22
大阪府	-	-	-	-	224
兵庫県	-	-	-	-	70
奈良県	-	-	-	-	14
和歌山県	-	-	-	-	36
鳥取県	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	13
岡山県	-	-	-	-	37
広島県	-	-	-	-	150
山口県	1	0.11	-	-	116
徳島県	-	-	-	-	16
香川県	-	-	-	-	69
愛媛県	-	-	-	-	12
高知県	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	191
佐賀県	-	-	-	-	11
長崎県	-	-	-	-	10
熊本県	-	-	-	-	90
大分県	-	-	-	-	24
宮崎県	-	-	-	-	82
鹿児島県	-	-	-	-	15
沖縄県	-	-	-	-	3

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注）報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群（SARS）						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2006年50週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総　数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報　第8巻　第50号　2006年12月28日発行
発　行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
ＴＥＬ：03-5285-1111
ＦＡＸ：03-5285-1129
ＵＲＬ：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
＜国立感染症研究所　感染症情報センター＞
http://www.mhlw.go.jp/
＜厚生労働省＞
http://www.forth.go.jp/
＜旅行者のための海外感染症情報（厚生労働省検疫所）＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。